京城日報
朝刊
朝夕刊共六頁

社説 半島一年の回顧

聖戰既に四年有餘、帝國の歷史的使命たる東亞新秩序建設の[illegible]は[illegible]み出された。世界の歷史はここに一轉、新世界秩序の[illegible]の中に、光輝ある昭和十六年はまさに終らんとしてゐる。この有史以來の大偉業遂行の秋に生れ合せ、然もこれに參與する我等半島大衆の光榮は、何んと云ふも筆舌の能く盡し得ない處であつて、深く感銘すべき處である。實に帝國はこの一年に於て世界の最大強國として、東亞新秩序建設の歷史的新段階に突入、一世紀にも相當する大飛躍を敢行、外にあつては東亞新秩序建設の指導者として[illegible]たる地位を確保し、八紘一宇の世界新秩序に邁進して着々偉大なる成果を收め、既に新東亞の黎明は我等が前に輝かんとしてゐるのである。これは一に大御稜威の然らしむる處であり、皇軍將兵の赫々たる戰果の賜物であり、更に銃後國民の一致協力の結晶であつて、更に[illegible]國民の一致協力の[illegible]きものがある。而して[illegible]一年間における躍進半島の姿を顧みるとき、我等はここに改めて一大勇猛心の振興と、深き反省と熟慮を要するものあるを痛感する。

顧みれば我が半島においては事變以來愛國運動は益々熾烈を極め、南總督の内鮮一體運動は國民總力運動の核心として、二千四百萬大衆の腹底を打ちつゝあつたが、本年は更に時局の重大化に伴つて諸般體制強化の下に進行せられ、總督は年頭に際し重大時局に處する大衆の覺悟と構へを促し、挺身臣道の完遂を強調するところがあつた。一方國防國家建設を眼目とし、國民の總訓練、思想統一、生産力擴充を内容的基調とする彪大豫算を以て諸施政は遂行されつゝある。即ち米穀を初め農作物の増産、地下資源の開發、これらの開發に伴ふ大規模工業の勃興、或は水力電氣における水豐ダムの完成の如き、まさに世紀の大偉業であつた。更に人的、精神的方面の施策においては總力聯盟の活動と相俟つて、皇國臣民道の實踐、愛國心の昂揚、内鮮一體の強化、國民皆勞運動等々活潑なる總力實踐運動を展開、内地に劣らぬ熱意を表明したのである。

更に又時局の急進展に從つて一切の施設は内地に即應、國防國家體制確立を中核として急テンポに發展し、國家總動員法の發動は愈々強化され、國民勤勞報國協力令、臨時保安令、國防保安法、その他朝鮮商業組合令、國民學校令、貯蓄組合令、住宅營團令等重要令は相次で公布實施をみた。またこの外政治、經濟、教育、社會各般に亙る諸施設について改革整備が行はれたが、本府の機構改革の如きその一つである。又志願兵制度も本年は特に志願者の激増のみ、これが銓衡地を内地にも追加したる如き、愛國半島の一端を表明するもので欣快に堪へない處である。更に總督の滿洲國訪問は鮮滿一如の大理想を強化せるもので特筆さるべきものであつた。かくの如く半島は擧げて決戰體制下に愛國の熱情を燃やしつゝあり、從つて今や帝國國策遂行のため絶大なる寄與をなすものとして、半島の重大性は倍々増大さるゝに至つた。而して朝鮮に課せられたる使命は大陸前進兵站基地として、將又東亞共榮圏の有力なる一環として、農工鑛業の増産強化に、その豐富なる資源を開發するにあるのであつて、今後にこそ大なるものが負荷せられてゐるのである。

我等は悠久二千六百一年、史上かつてみなかつた、この國家隆替の關頭に立つて今こそ全力全魂を國家のために捧げねばならぬ。長期持久戰はもとより覺悟の前である。徒らに今次緒戰の勝利に安んずることなく、洋々たる前途の希望に燃えて、今日の苦難を互に忍んで甘受し、益々總意の一丸となつて、半島の重大使命遂行のため、大東亞建設のため邁進しなければならない。

香港攻略を嘉せらる
支那方面陸海軍部隊に勅語

大本營陸海軍部發表【十二月廿七日午後六時】大元帥陛下には本日陸海軍幕僚長を召させられ支那派遣軍總司令官ならびに支那方面艦隊司令長官に對し左の勅語を賜りたり

勅語

支那派遣軍及支那方面艦隊ハ緊密ナル協同ノ下ニ開戰劈頭適切ナル措置ヲ以テ在支敵國權益ヲ處理スルト共ニ迅速果敢ニ香港ヲ攻略シ英國ノ東亞ニ於ケル重要ナル根據ヲ覆滅シタリ

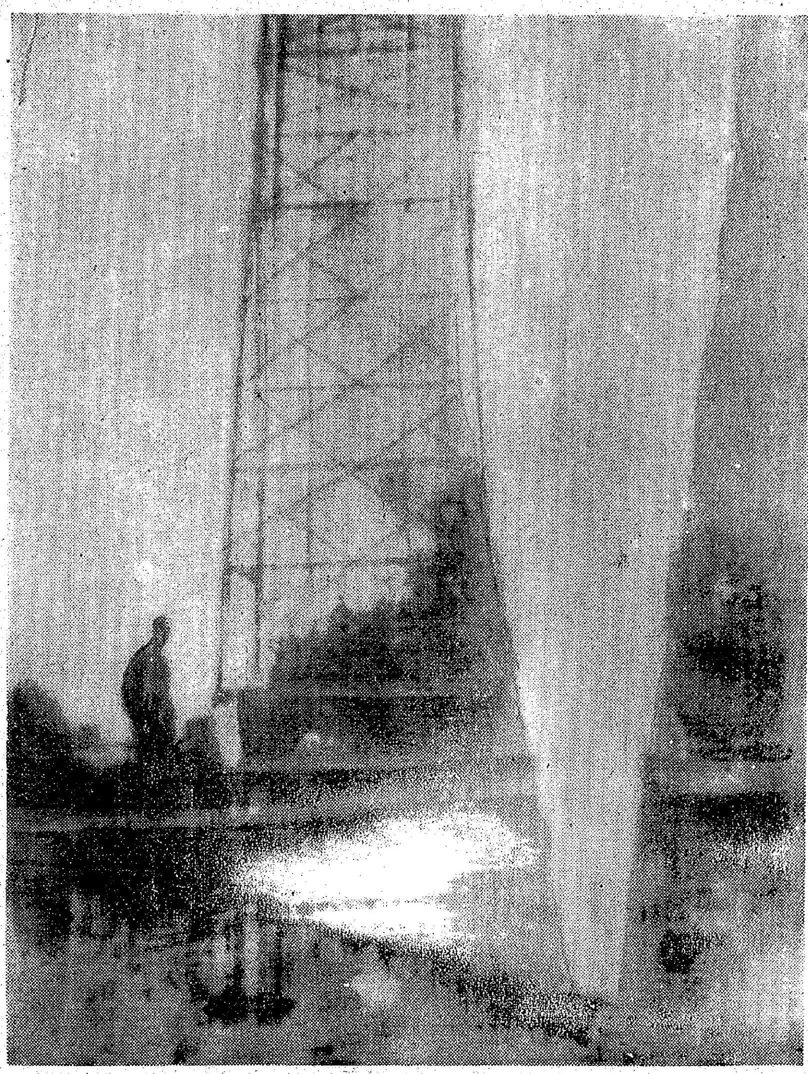
朕深ク之ヲ嘉尚ス

陸海統帥部を御激勵
畏しあす御陪食の御沙汰

【東京電話】宮中に大本營が設置せられて去る十一月[illegible]すでに滿四年を閲し、さらに大東亞戰爭勃發して征戰は未曾有の長期戰を豫想されるに至つたが、畏くも大元帥陛下には今や戰局進展して大纛の御もと嚴粛なる皇軍の作戰いよいよその威力を發揮するとき陸海軍統帥部を深く御激勵あそばされる畏き思召により、廿九日午前宮中に閑院參謀總長宮、伏見軍令部總長宮兩殿下をはじめ奉り、杉山參謀總長、永野軍令部總長以下大本營陸海軍部高級幕僚を宮中豐明殿に召され、午餐の御陪食を仰付けられる旨廿七日御沙汰あらせられた、畏くも大元帥陛下におかせられては雄渾の聖慮依御軍裝を解かせられず、御軍務に御精勵また御日常にも第一線將兵の勞苦を思はせ給ふと承るが、忠誠勇武なる皇軍の赫々たる戰果を嘉せられて聖慮を安んじ奉ることを得た、また大本營、洋上と前線には侍從武官を差遣はされて軍状を視察せしめられその都度御勅語、御下賜などを賜ひ、かくて常々第一線將士を御激勵あらせられてゐるが、このたびさらに大本營統帥部を御激勵あらせられるは非常時局下畏き極みである

けふ輝く香港入城式

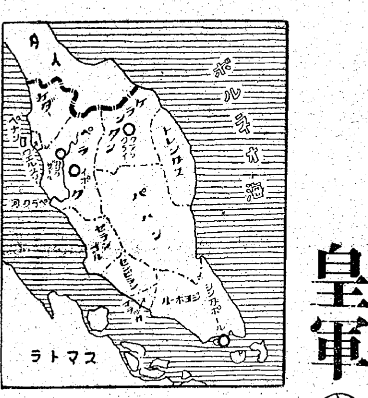
【香港前線廿七日同盟】香港は遂に皇軍の神速果敢な攻撃の前にたまりもなく開戰八日にして陷落、ここに香港の第一歩を踏出すことになり、その歷史的香港入城式は廿八日午後二時卅分皇后大道において香港攻略に輝く陸海軍部隊により盛大に擧行されることになつた



肥りつゝ戰ふ大東亞戰爭

早くもわが軍に占領されたセリヤ油田(英領ボルネオ)の物凄い噴出ぶり=現地―臺北―東京―京城=電送

ペラ州北半を制壓
隨所に敗走英軍殲滅
皇軍の意氣愈よ軒昂



【○○基地二十七日同盟】北部マレーのケダー州を席卷し敗走する英軍を急追しつゝペラ州に雪崩れこんだわがマレー進撃の精鋭は二十二日以來ペラ河北方の平原地帶を數縱隊となつて巧みなる機動戰を展開相踵いで敵の據點を攻略、隨所に敗走英軍を捕捉殲滅し、二十六日早くもペラ州北半を完全にわが制壓下に收めた、情報によればシンガポール軍當局は、英本國より嚴重なる譴責を喰ひペラ州地區において慘憺たる今日までの態勢を建直し反撃を試みんと苦慮しつゝあるものの如く、わが軍はこの好餌を迎へ戰意頓に昂まり二十六日朝來引續き一擧にこの敵を剿滅すべく堂々の進撃を進めてゐる

皇軍、破竹の進擊
敵、戰意を完全に喪失

マレー第一線 初の從軍記

【東京電話】皇軍は開戰と同時にマレー進撃を開始し酷暑と頑強な敵の抵抗を排しつゝ猛進撃をつゞけすでに敵がマレー北部の要衝と恃むペナンを攻略、一路南下をつゞけシンガポールを目指して急追してゐるが以下は第一線に從軍してゐる同盟記者が敵陣を拔いて第一線から寄せて來た最初の從軍記である

【マレー○○廿七日同盟特派員】わが軍の英領マレー攻撃は狼狽潰亂の英軍を急追、また急追、文字通りの快速進撃をつゞけ全面的に敵の抗戰意識を喪失せしめつゝあるが廿六日現在の各戰線戰況は左の通りである

一、○○進撃部隊 去る十日國境線を突破ケダー州に進攻した○○進撃部隊は十二日には少くとも三ケ月の抵抗は容易なりと敵の豪語したポパムラインの第一線陣地を僅か一日にして突破、十五日にはアロスタ南方○○に進出、十九日○○河を渡河南進、さらに廿一日○○を越え廿六日ペラー州○○河に進出しつゝある。同方面の敵印度兵を主力とする四萬を完膚なきまでに粉碎潰走せしめた

一、○○進撃部隊 ○○に沿ふて八日行動を開始した中部の敵を撃滅、標高三千メートルの峻嶮な山岳地帶を縫つて猛進をつゞけ、廿日は○○の敵を急襲、文字通りジャングル戰を展開して廿六日はペラー州の○○の線に進出、同方面の敵スコットランド兵五ケ中隊、印度獨立歩兵大隊なども わが兵を見て潰走するといふ弱敵ぶりであつた

一、東岸進撃部隊 去る八日英領マレー東北岸○○に敵前上陸を行つた○○進撃部隊は、猛烈な敵の砲火を冒し血路を開かれた同方面の敵約六千を潰滅すべく火蓋を切り、十九日後○○を占領し現在進撃中である。敵は新たに編成された印度軍第八師であつたが、すでに完全に潰滅した

一、敵兵力の状況 マレー防衛の敵機約三百[illegible]機は開戰と同時に敵基地に對するわが荒鷲の的確なる爆撃によつて現在は大型機四十に滿たず總計九十臺であるが、すでにマレー半島の制空權はわが掌中にあり、その空軍力潰滅も間近いものと思はれる。陸軍は開戰直前に増援された部隊を加へ、總計約十四萬と思惟されてゐるが、うち英國兵一萬八千、濠洲兵二萬五千、殘り全部が印度兵であり、敵はポパムラインを重視して約四萬を配備、防戰せしめたがこれはすでに潰滅、東岸地區の敵六千も殲滅され、敵國境防備軍の戰力は完全に喪失した、各戰線における捕虜、鹵獲兵器は實に夥しい數に上つてゐる

ペラ州○○早くも治安回復

【マレー、ペラ州○○にて廿七日同盟】廿三日占領したペラ州○○は早くも治安回復し住民が續々復歸してゐる、英軍約五千は去る十七日この地を拋棄退却したが、逃げ遲れて附近住民に虐殺された英人の死體があちこちに轉がり破壞の跡生々しくしてゐる、皇軍がこの地に入るや住民達は何處からともなく現はれて歡迎の意を表してゐる

ダンケルク以上の大殲滅戰展開せん
比島の敵 笑止、決戰の態勢

ブエノスアイレス【廿七日特電】ワシントン經由マニラ來電によればマニラ防衛の米比軍はリンガエン及びラモン灣方面よりマニラ目指して怒濤の如く進撃する日本軍の猛攻に堪へかねて廿七日(現地時間)遂にマニラ防衛第一線を廿哩乃至廿五哩後退せしめ、ここで一息入れると同時に、同所に堅固な新陣地を構築、義勇兵、民兵を寄集め、急遽新編成する新兵團を以てマニラ防衛の成否を決すべき大會戰を試みんとする態勢を示してゐるが、日本軍の増援部隊、特に重砲、戰車部隊の新手は引きも切らさぬ模樣で、この新陣地によつて果して最後の全面的決戰が可能か否か危ぶまれてゐる、而して右マニラ周邊の新陣地が日本軍機械化部隊によつて突破され、米比軍は總崩れとなり然も若し日本軍新鋭部隊が新にマニラ方面に上陸した場合、マッカーサー總司令官以下の米比軍は一兵も殘さず日本軍の包圍鐵環下に壓縮され、タンネンベルヒ的大殲滅を喫するか、少くともダンケルクの敗戰を再演、全軍悉くマニラ灣に叩き落される運命になるだらうと見られてゐる

慘敗責任者ボパム罷免さる

【ストツクホルム廿六日同盟】ロンドンロイター電によれば英當局は廿六日東亞英軍敗退の責任者としてマレー軍司令長官ボパム大將を罷免、後任にサー・ヘンリー・パウナル陸軍中將を任命した旨公表した、パウナル中將は永く英陸軍參謀次長の地位にあつたが、去る十一月東亞軍總司令官への轉出が發令されてゐたものである

觀兵式諸兵指揮官更迭 中村大將に決定

【東京電話】新春一月八日執行はれる陸軍始觀兵式諸兵指揮官は田中靜壹中將に代つて中村孝太郎大將に決定、廿七日附官報をもつて左の如く發令された

陸軍大將 中村孝太郎

昭和十七年陸軍始觀兵式諸兵指揮官被仰付

陸軍中將 田中靜壹

昭和十七年陸軍始觀兵式諸兵指揮官被免

皇軍に對する感謝敬弔決議案 衆院、滿場一致で可決

【東京電話】衆議院本會議は廿七日午後一時廿二分再開、陸海兩相の戰況報告についで各派共同提案の陸海軍に對する感謝並に戰歿者に對する敬弔決議案を上程、總員起立裡に全會一致可決、致府決議案を捧げ終つて東條首相及び嶋田海相より必勝に邁進する全軍の決意を述べて謝意を表明、衆田傳氏全議員を代表して政府に對する要望演說を行ひ、これにて全日程を終了、最後に田子議長より本會議開會日は火木土とし質問日は火曜日とするが議長において必要と認めたる場合は例外とする、政府においては提出議案準備の都合もあるので明年一月廿一日より本會議を開くが、それまでに必要あれば何時にても開會することにする旨を述べて一時八分散會自然休會に入つた

長樂街に突入
周邊掃蕩 汨水北岸に進出

【漢口廿七日同盟】昨拂曉關王橋を奪取せるわが各部隊は引つゞき羅水河の要衝陳家橋、三口[illegible]と次々に攻略し、廿七日夕刻には敵後方據點長樂街(岳州東方五十キロ)に突入し、附近一帶を掃蕩し各部隊とも一齊に汨水北岸の線に進出した

黃河を渡りオルドスを猛攻

【オルドス前線○○にて廿七日同盟】オルドス前面の敵は去る十五日より密かに兵力増強に狂奔してゐたが、この企圖を察知したわが田中、澤田、山崎、高落の各部隊は機先を制して廿五日夕刻結せる黃河を渡り勇躍根源のオルドスに進撃を開始し、廿六日朝には要衝○○を攻略、騎兵第七師(師長米鼎林)遊撃第二軍(軍長李作棟)約四千の敵に殲滅的打撃を與へ多大の戰果を收めた、廿六日夜も前線では香港陥落を傳へて士氣軒昂、なほも敵を急追中である、今次オルドス作戰において廿七日までの戰果左の如し、敵遺棄死體二百、捕虜廿五、鹵獲品多數

高安地區の敵を包圍殲滅中

【江西前線○○廿七日同盟】廿五日奉新を屠つた堀、大江、光藤、武池などの諸部隊は廿六日夕刻奉新、高安の中間にある米嶺の敵百八十三師の主陣地および○○、○○を一氣に覆滅、廿七日朝來○○方面へ潰走中である、また新牆河南岸の本隊高安に肉薄した野口、田中、山崎、鳥島などの諸部隊は高安縣城に猛攻撃を加へるとともに同方面へ進出せる永松、糸日谷、楠木、宮脇などの諸部隊と相呼應して高安北方地區で敗敵を捕捉、目下これを包圍殲滅しつゝある

泰の對英宣戰未定

【バンコック廿七日同盟】ナイ・ベイレック外務次官兼宣傳局長は廿七日のタイ新聞記者團との會見において對英宣戰布告につき次の如く述べた

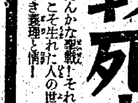
タイ國は現在のところ對英宣戰布告の意思はないが、イギリスがタイ國に對し宣戰布告をなせばタイ國も直ちにこれに應ずるであらう

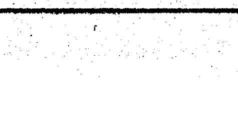
強力榮養源 エルビオゲン錠
虛弱體質 食慾不振 慢性下痢 姙産婦榮養
150錠 ¥1.50
東京 ライオン製藥株式會社

肺患者に急告……
まちがつた治療法の爲あたら人生を失ふ肺病ロクマク患者よ、早く正しい肺病征服の道によりて治しませう。お醫師様の金言を基礎とした全快指導書『治療の原理』と『草療法光明のあなたへ』の二冊の本を、寺から患者への御布施として無料送呈いたします。今スグ『京城日報で見た』と書いて左記へハガキをお出しなさい。そして早くこの方法により肺患を治して喜びの光明にかゞやく日をお送り下さい……。
大阪市 功徳山德林寺

講談雜誌 新年号
★敵ABCD包圍陣の軍備を暴く一問一答
問題の太平洋
★敵の根據地と軍備……★いかなる戰法でくるか?……★日本の進むべき道!
海の包圍線を衝く 海軍少將 匝瑳胤次
★米國二度目の威嚇……★賴もしき思ひ出……★斷じて海の護りは堅し!
われらのZ旗は揭る 海軍大佐 廣瀨彥太
感激 日本街の「軍艦」……三木苑一
勤王日記 日蝕の歌……横溝正史
大陸女性 大空に捧ぐ……木村莊十
赤穗浪士外傳の中 忠義不滅 忠僕元助 笹本寅
主を護り義を識す男の道!忠僕元助血涙の物語!
慰問袋には將兵に喜ばれる本誌を!
銃後風俗 逞しき家族……北町一郎
國際冒險 暗號音盤事件……海野十三
現地報告 地の靈……久生十蘭
正義凱歌 街道太平記……古谷里東山
(銃後心得)明朗正月記…(綺亭桂馬)
戰死者 戶川貞雄
壯烈無比な聖戰!それゆゑにこそ生れた人の世の美しき義理と情!
屠れ米英 我等の敵だ 進め一億 火の玉だ! (大政翼賛會)
價四十錢 送料二錢
東京市日本橋區本町 博文館 發行 (振替東京二四〇)

決戰下の情報讀物慰問雜誌
戰線文庫 新年特大號 價四十錢 送料二錢 (郵券代用可)
特別附錄六色刷 海軍省監修 太平洋軍事資源地圖
興隆の日本……海軍大臣 嶋田繁太郎
太平洋に備へて……報道部長 海軍少將 前田稔
米海軍戰略……海軍少佐 富永謙吾
▼勝利の魂……永井柳太郎
▼對米外交の回顧……金子堅太郎
▼躍進日本の工業力……宮本博士
新春隨筆 海から見た連峰の雲……中村武羅夫
黑人國漂流記……佐藤垢石
戰線勇士の俳句……水原秋櫻子
南進小說 颱風の如くに 濱本浩
感激手記 「愛翼一心」の舞妓 大庭さち子
銃後小說 おもかげ 中本たか子
更生手記 左手神聖……小川眞吉
敗戰アメリカ娘たち……目賀田正子
時局讀物 「娘の家」の娘たち……伊藤不六
連峰の雲……秋田實
豆小說 決戰新春 春の鶯 村……川島順平
初春たより……矢田ゆみ子
ニッポンバンザイ……玉川一郎
現地小說 髯物語 寒川光太郎
明朗小說 モンペお孃さん 宇井無愁
相撲小說 風霜相撲道 鈴木彥次郎
佛印小說 安南の椿姬 吉尾なつ子
時代小說 勝名乘り 山手樹一郎
菊池寬・森田たま・海軍傭兵士官の語る 銃後と戰地を結ぶ座談會
日・米英開戰とともに果敢なるわが海軍勇士のあらはした武勳に、銃後の感激と感謝は絶頂に達し、赤誠の獻金品は日々海軍省に殺到してゐる。これは文藝家と海軍傭兵士官が語る、銃後と戰地を結ぶ感激座談會。
東京市麴町區内幸町二ノ二 興亞日本社 振替東京一四六七六





永津京城師團長ら 六百卅四名に恩賞
陸軍生存者行賞發表

【東京電話】畏き邊では第二十五回支那事變生存者論功行賞（陸軍關係第二十回）の御沙汰あらせられ、二十八日午前賞勲局總裁よりそれぞれ發表された、今回該當の光榮に浴したものは北支方面の戰鬪に從ひ春季晉南作戰、魯南剿共、東部中條山脈剿滅作戰などに參加して勇戰力鬪した牟田（健）部隊ならびに中支方面の警備にあたり贛陽作戰、春季皖南作戰、大通南方地區などの戰鬪に加はり終始積極的な討伐を實施した篠原（誠）酒井（直）部隊に屬する軍人（將官を除く）および軍屬と所屬部隊に屬する一部の將官（佐官を除く）ならびにその後將官に進級したものを含む）でそのうち金鵄勲章を授賜されたものは六百三十四名であるが、和知鷹二少將以下十名に對しては特に拔群の武功を賞せられ殊勲甲の御沙汰あらせられた

殊勲甲

功三旭二　少將　和知鷹二　廣島
同　同　同　田尻利雄　福岡
同　同　同　鷹森孝　三重
同　同　同　田上八郎　鹿兒
同　旭二　同　長谷川基　島根
同　中綬　同　岡崎清三郎　同
功五旭七　軍曹　藤岡改　京都
功七旭七　兵長　岩本駒一　奈良
功六同　上等兵　納富久次　佐賀
同　同　同　鈴木新二　三重

田上少將

同　旭二　同　大佐　石井嘉穂　山口
同　同　大佐　高野直満　石川
同　旭二　少將　中島三柄雄　廣島
同　中綬　大佐　自銀義芳　山口
同　同　少將　秋澤穂　高知
同　旭二　同　小林信夫　茨城
同　中綬　同　原田義和　福岡

加藤少將

同　同　同　加藤鑰平　愛知
同　同　同　川並密　茨城
功四旭二　少將　鈴木貞次　静岡
功三旭二　同　片山理一郎　同
同　中綬　少將　堀井富太郎　兵庫
同　同　同　富永信政　同
同　中綬　大佐　澤田保富　愛媛
同（重光）同　安藤快平　東京
功四中綬　同　山内章　福井
同　同　淺間茂雄　山形

一般將校の部（佐官以上）

功二　大佐　岡本徳三　滋賀
同　少將　苦米地四樓　青森
同　同　矢野機　東京
同　旭二　同　中野直三　佐賀
同　重光　同　永津佐比重　愛媛

永津師團長

同　重光　同　牟田口廉也　佐賀
功二　同　同　西山福太郎　東京
同　同　同　後藤十郎　山形
功四中綬　大佐　古内龍太郎　福岡
同　同　同　有川主一　鹿兒
同　同　同　大坪一馬　佐賀
功四中綬　大佐　重松吉仁　福岡
同　同　中佐　根岸幹　群馬
同　小綬　少佐　三原七郎　福岡
功五旭四　同　本山一郎　熊本
功四小綬　同　久保田瑠　福岡
同　旭四　同　松本總三郎　三重
同　同　同　中島信二　富山
功五同　同　駿森幸男　和歌山
功四中綬　大佐　山田尚彦　岐阜
同　同　同　志摩源吉　長野
同　同　中佐　小田島俊夫　岩手
同　同　同　梶秀俊　香川
同　旭四　同　井上啓助　福岡
同　中綬　同　石田壽　三重
同　同　同　三澤金夫　東京
同　同　同　田村權一　愛媛
功四中綬　中佐　吉田嘉三　和歌山
同　小綬　少佐　寺尾榮太郎　佐賀
同　中綬　中佐　鈴木友吉　神奈
同　旭三　同　竹下清文　鹿兒
同　小綬　少佐　河北勝毅　滋賀
同　中綬　中佐　矢後孫二　富山
同　同　同　後藤十郎　愛知
同　小綬　少佐　久吉寛殷　鹿兒
同　同　同　東野謙二　福井
同　中綬　中佐　妹尾芳治　福岡

企業許可居出 留意事項を各道へ通牒

企業許可令第七條に基づく從業者は本月廿六日より六十日以内、即ち明年二月廿四日までに朝鮮總督又は道知事に届出ねばならぬことゝなつてをり、現存業者の届出を期間中に正確に必行せしむることは將來における同令運用の基礎をなすのみならず虚僞の届出又は届出の懈怠に對しては國家總動員法第三十一條の適用として處罰せられることゝなつてゐるので廿七日殖産局では局長名をもつて各道知事に通牒を發しこれが周知徹底方を促すところがあつた

一、速かに府郡島邑面、經濟統制協力會、商工會議所、商工相談所、同業者團體、新聞等を通じ届出づべき業種、届出先、届出事項、届出期間、細則等に付周知徹底せしむること

二、届出事項に付て（施行規則第十條）

（イ）「現に行ふ事業」の項目には施行規則別表に依り金屬板製造業等と記載せしむること、一業者にして數業を行ふ者は金屬板製造業、錫金屬管製造業又は洋服仕立販賣業、男子既成服卸賣業等と記載せしむること此の場合届出先の異る數業を行ふ者は同一届出先毎に別件とすること、施行規則第二條第一項に該當せざる場合即ち生産者にして小賣業者に卸賣する場合又は消費者に小賣する場合は夫々當該卸賣業又は小賣業に付製造業等とは別に届出しむること、臨時資金調整法に依り設立の許可を受けたる會社と雖も指定事業を行ふ者なるに於ては届出しむること

（ロ）「工場、事業場、店舗其の他事業を行ふ場所の位置又は事業を行ふ區域」の項目に付ては場所又は區域毎に別件を以て届出しむること、尚ほ事業を行ふ場所の位置は番地迄を記載せしめ事業を行ふ區域は行商等の如く場所の一定せざる者の事業區域を其の廣狹に從ひ全鮮一圓、何道一圓（二道以上に亘る場合は何道以下府郡島邑面の場合亦同じ）何府（郡島）一圓、何邑（面）一圓と記載せしむること此の場合道知事に届出づべき業種にして其の區域二道以上に亘るものに付ては各當該道に別々に届出しむること

（ハ）「物資の生産加工修理販賣又は保管の事業に在りては取扱物資の種類」の項目には現に行ふ指定事業の範圍に屬する物資を朝鮮工業調査規則及商業調査規則に基く工業分類表及商業分類表等參照の上適宜記載せしむること

（ニ）「當該事業を開始したる時期」の項目には現實に當該事業を開始したる年月日を記載せしむること

三、届出義務者に付て

（イ）個人、會社、行商者、露天商、百貨店、組合、購買會、共濟會の何れたるを問はず現に指定事業を行ふ者は全部届出しむること

（ロ）卸賣業または小賣業に關しては企業許可制度の趣旨および施行規則第二條の法意に鑑み農業者等が一號市場において農産物等を市日に限り販賣する行爲の如きは含まざること

（ハ）現に事業を行ふ者にして届出期間内に届出をなさず死亡したる場合はその相續人をして届出期間内に届出しむること

（ニ）届出名儀は個人經營にありては經營主、會社その他の團體にありては業務執行役員、登記したる支配人その他法的代表權のある者の名儀を以てなすこと

四、届出先に付て

施行規則別表に依り朝鮮總督又は道知事なる場合朝鮮總督に届出づる場合に於ては施行規則第十七條に依り必ず道知事宛に副本を提出せしむること

五、届出様式に付ては別に指定せざるに付適宜指導のこと

産金政策は不變
木野本府産金課長歸任談

産金増産その他折衝のため東上中の木野産金課長は廿六日歸任したが産金の重要性に鑑み業者も一層の努力を拂はれたいと前提して左の如く語る

産金豫算は金資金特別會計の財源が縮縮になつて來てゐるので豫算も縮減されるのではないかと見られ、折衝には充分の覺悟をもつて臨んだのであるが大藏省理財局と折衝した結果昨年度の奬勵制度を弱めなくてもやつて行けるやうに財源を確保することが出來た、金資金特別會計の外に本府豫算でも認められてゐるのでこれ等を合せると來年度豫算の角度から眺めて産金政策には變りがない、生産力擴充第二次計畫の打合せにも出席したが産金に對する一般の空氣は何等變つてゐない、半島も政府の方針に則り大いに増産に拍車をかけてほしい【寫眞＝木野産金課長】

本社主催座談會
慘敗米英はどう出る
潜水艦マニラ脱出 基地三百は嘘の皮【二】

匝瑳少將　差當り難しいと思ひます、米國の今の狀況をその艦隊にし飯つてさしておけばよい、殆ど太平洋艦隊がなくなつてしまつたのでありますが、日本の艦隊によつて米國は本土の西海岸を脅されることとも考へなくてはならぬ、相當な兵力を太平洋に廻すといふことは當然あり得ると思ふ、それは國土防衛の爲にあり得ると思はれる、大體大西洋の方は最早既にスチムソンがいつてゐるやうに『戰爭が始まつた以上は英國の援助は一切中止しなければならぬ』ことになる、英國の援助を中止しなければ大西洋の艦隊を太平洋に廻すことは出來ない、これが適つた後は英國の艦隊でその方を受持つことになる、大西洋艦隊を太平洋に移すことは、差當つて一番最初に行はるべき手で米國海軍の重點であらうと思ふ

來間氏　米國の大西洋艦隊が太平洋に回航されたならば英國はどう出るでせう

匝瑳少將　米國は大西洋艦隊として自分の主力を持つてゐるらしい、これ等の艦隊中有力な主力艦隊を太平洋に移すことは、英國の海軍にとつて相當な負擔をかけることになる、英國の艦隊は自分の艦隊だけで大西洋を護らなくてはならなくなるから、到底英國は東洋に有力な艦隊を派遣することは難しいことになつて來ると思ふ

來間氏　米英共に有力なる主力艦隊をうんと東洋に廻すことが出來ないとしますと、自然潜水艦か何かゲリラ戰に出て來ることと思ひますが……

潜水艦ゲリラ戰

匝瑳少將　それはやるでせう、英國は直ぐといふわけにはゆかないが、米國としてはどうしてもやることは當り前である、米國政府としてはあれだけの失敗を來したのだから國内的にも、世界的にも面目を立てるために報復手段を講じて來ることと思ふ、その報復手段は、現在において殘されてゐる手段は飛行機、潜水艦を以てするゲリラ戰を展開して日本に相當な損害を與へ、さうして面目を立つやうにするといふ以外に手がない、かういふことをすることは想像に難くないことであらう、ゲリラ戰はすでに展開されてゐる、現にマニラにをつた潜水艦隊、米國東洋艦隊の潜水艦隊が過半くもマニラを脱出して太平洋のどこかにバラ撒かれてゐるといふことは確かである、これらの潜水艦が日本の後方攪亂策を講ずるといふ風なことはこれから起つて來る問題であらうと思ふ、一方空軍よりする攻擊は日本が逸早く實際的空爆により殆ど長距離艇は潰滅した、それでそれ等の根據地としてかねて米國が整備強化して來たウエーキ、ミッドウエー、グアム等があつたけれども、これらは日本の攻擊でグアム、ウエーキは既に占領されミッドウエーも攻擊されてしまつたといふことになつては飛び出す根據地がなくなつた、マニラ祭りといふことになつたこの長距離轟炸機、所謂空の要塞ボーイングB十七型とか、コンソリデーテッドとかいふ非常な長距離と航續距離を持つ高性能の長距離飛行機、かういふものが飛び出す根據地を失ひ東洋に派遣されてをつた之れら優秀なる空軍の大部分がやつけられてしまつたのでは長距離爆擊機によつて日本を空襲することは出來なくなつた、かうなるとどうするかといふと、航空母艦に優秀の飛行機を積んで、日本本土近くに進攻させて、さうして工業都市を爆擊し、或は都市に燒夷彈をばら撒いて日本の都市を燒き拂ふといふやうなことは、これから米の打つ手としては當然考へられるので、我々國民も充分の用意と覺悟を要する點だと思ふ

やるか日本空襲

來間氏　向ふから航空母艦で來れば却つて向ふが危險性が多いのではないかと思ふが

匝瑳少將　それはその通り危險性は滅法に多いけれども米國人といふものは僕のスポーツ的冒險心で飛んで來る、殊に航空母艦は現在の計畫中には非常に大規模な計畫を以てやつてゐる、これ等計畫されたものが總て出來た曉には、十八隻の母艦が出來上るのです、現在あるやつで以て相當な撒擬を被つても、或る數目を維持するといふ方から政策的にも必要であるといふことになりますれば相當な冒險を冒して冒險好きなヤンキー空軍はやつて來ないとも限らない、又北方の方からはアリユーシャン、アラスカを基地として襲擊するであらう、これは日本としても萬般の備へはあらうが、あの方面の基地から飛んで來ないとも限らない、この方面においては濃霧や風雪で氣象も惡く、殊に冬季においては一ケ月中に一日も好い天氣の日があるかないかといふ位の惡天候の續くところだが、たまの天氣の好い日にぽつと飛んで來ないとも限らないが、非常に氣象的な惡條件に阻まれてゐるので難しいと思ふ、しかしかねて考へられることは、單に郊外に過ぎないかも知らぬが、あそこから長距離飛行機で以て飛び出して日本を空襲し、さうして基地へ歸ることが出來ないならば直ぐ日本海を突き拔けてソ聯領内に避難する、さうするとソ聯は中立國であるから、その中立國ソ聯に着いて武裝解除されてそこで抑留になるといふ風なことになるのだから、さうすれば來られないことはないといふことも考慮しておくべきだと思ふ、それに將來リトヴィノフ駐米ソ聯大使が米國に赴任したのだから、將來外交上どんな折衝をしないとも限らない、カムチャッカや沿海州を利用して日本を空襲して來るかも知れない、しかし今のところソ聯は米國の要求に應じない建前を取つてゐるが將來どうなるか、これは大いに考慮に入れておかなければならない、しかし今差當つて飛行機が日本を空襲してソ聯領に落着くといふやうなことはやれないこともないと思ふ、どれに對しても日本は充分警戒はしてゐる、樺太、千島その他兼る處に日本空軍も眼を光らせて十分な警戒をしてゐるから、日本に飛んで來る前に處分するといふことも出來るであらうと思ふ、殊にとにかく今後日本の北邊の警戒といふことについては十分にその措置を講じられると思ひます

潜水艦の基地は

來間氏　マニラにゐた潜水艦が太平洋にばら撒かれてゐるといふことであるが、マニラの基地にゐた潜水艦は高能力の優秀なものであるといふが、どれ位基地を離れて潜水艦が單獨で活動出來るものでせうか

匝瑳少將　幾隻來てゐたか判らないが、相當新しい大きなやつが來てゐた、千五百噸もある大きなやつになると、この行動半徑は一萬五千浬もあるといはれてゐる、さういふ潜水艦になると一ケ月位は何等の補給を受ける事なしに自分自身で行動が出來る、ところが今さういふやつが濠洲から濠洲方面の西南太平洋にばら撒かれてゐる基地で補給して來る、さういふ所は日本がまだ手をつけてをらない、十分補給が出來る所がすべて日本の手に收められてしまふと、全く基地がないから行動半徑が小さくなつて來るけれども今のところ油でも食糧でも何んでも補給で濠洲へ行つても補充してくれるから何時までも續くといふものだ

來間氏　米國では潜水艦基地が太平洋に三百箇所もあると云つてゐるがそんなにありませうか

匝瑳少將　そんなことは無いらしく嘘だと思ふ、三百の基地はないらしいが相當にあることはあるかも知れないが、あの廣大な太平洋に散らばつてゐる島々に寄つて兵員を島に揚げて休養させるとか、食糧位の補給をすることは出來る島が三百位あるかも知れない、あの廣い太平洋の周圍になつてゐるのだから

出席者
元聯合艦隊司令長官海軍大將高橋三吉▲海軍少將匝瑳胤次▲海軍少將長谷川正道▲大本營陸軍部報道部員陸軍少佐中島鈆三▲早大教授杉森孝次郎▲三井金屬研究會主事西村光夫▲評論家來間泰▲本社側總合東京支社長▲東京支社通信主任▲中田記者（十二月二十日於東京赤坂星岡茶寮）

わが荒鷲の訓練

來間氏　何しろ海軍の荒鷲の働きは素晴らしいもので、これ程の大きな手柄についてはかねて非常に猛烈な訓練があつたに違ひないと思ひます、日本の陸海軍、殊に航空隊の訓練が非常に猛烈果敢であつたと聞いてをりましたが今度の戰果を見ますと國民が想像してをつた以上大變な訓練があつたものと思はれます、改めて驚嘆し荒鷲を讃美してゐるところであります、この海軍航空隊の育成については高橋閣下が直接その衝にお當りにもなつてをられましたが、海軍航空隊の訓練につきお差支へない程度にどういふ風なことであつたかといふことをちよつと何か……

高橋大將　現在の海軍航空隊がどういふ訓練をやつてゐるか僕には判らないが、たゞ僕が航空隊に關係したのが昭和の二年で、聯合艦隊に初めて航空戰隊といふものが編成せられて一緒に編入された時初めて司令官になつて、その時の司令官として初代の航空戰隊司令官として命を受けて航空艦隊の機能を發揮した、その後約一年位在職して軍令部次長、聯合艦隊司令長官になつて、航空方面には直接的でなかつたがその後も航空教育といふものに對するずつと昔から今までの色々な前途について取調べてはあるが、それについてはいふわけにはゆかないから、僕がその當時當つてゐた航空戰隊司令官時の話でよければ……

創設當時の苦心

來間氏　どうぞ……

高橋大將　その當時の航空隊といふのは非常に貧弱なもので今から見るとまるで豚もこんな様で頭でなつちよらんやつで、そして馬力も小さい、速力も遅い、航續力も少なかつた、その當時僕たちが一番苦心したのは母艦に歸ることなんだ、母艦に歸つて來ることが難しい、母艦に降る、着艦するといふことを、着艦では着艦といつてゐる、着陸、着水、着艦との着艦といふ問題が非常に難しい問題で昔の航空隊が非常に困難に苦しめられた一番初めに機體の研究されてをつたが、航空機が出來る前から航空なかなかうまくゆかない、そこで僕々の航空戰隊の出來るずつと前に着艦は許されたが、英國の航空母艦に名前は言へないが、英國の航空母艦に歸ることが出來るのだといふことを本當に示してくれたわけではない、この着艦は英國の海軍で早くからやつてゐた、それを真似するといふか、まあ成つたわけである、そこで二、三回やつて廻つた、瀬戸にも日本人に着艦させるのに一回廻らといふて相當な金を拂つてやらせた、一回たやつた、それから後大今度は誰がやるかといふことになつた、ところが元氣なやつがやつてね、吉良といふ男で今は少將でどこかの航空司令官をしてゐる、これが初めて大尉の時だつたがやつて見たいといふのでやることになり飛び出して行つた、さうして甲板へ來てぱつと着艦しようとしたが先生見事に足つて落ちてしまつた、大した怪我でなかつたらしいが、骨折を折つた、相當の怪我をしたので止めるかと思ふと四、五日してから何したと思ふともう一遍やらしてくれといふ、元氣な男でもう一遍やらしてくれ、さうして落つこちて怪我したのだから、それで駄目だと思つてそれきりやらなければ、當分は一年か半年遲れるのだが、先生まだやつた、所が今度はうまく行つたといつた、うまく着艦出來たのだ、これさ、かういふ風にやればいい、といふことが判つた、のだな——といふことが判つた、日本人では吉良が最初の着艦者なんだ、これから着艦を吉良がやつたので段々普及へてやれるやうになつたのだ

帝國外交陣は鐵壁【二】
一年の回顧

皇紀二千六百一年の外交を特記づけるものは實に今次大東亞戰爭を前に戰時外交に移行するための完璧の布陣が敷かれたことである

北方ソ聯に對する外交施策、南方、泰、佛印に於ける外交成功また然りである、米國に通ずる對米英の外交々渉にしても毅然自重誠意をもつて折衝したからこそ、たとへ交渉は破綻しても緒戰における先制の大戰果を擧げることが出來、またよく國民士氣を鼓舞することが出來たのである

本年内閣は第二次近衞内閣から第三次近衞内閣へ、更に東條内閣へと二回の更迭を行つたにもかゝはらず、帝國外交の大きな流れは不變であつた、たゞ對外折衝といふ面において演ずる役者の顔觸れが異つたに過ぎない、本年の外交の大きな流れが、大東亞の現狀に眼をそゝいでゐたのみならず、如何に世界の大勢に順應して、敏速に巧妙に動いたかの實例を、一は日泰攻守同盟の成立に見、他は戰爭直後締結された日獨伊三國新協定の成立に見るのである、日米交渉の打切りぶりといひ、またこれらの協定締結といひ、東條＝東郷のコンビによる和と戰の賜物であり、また世界外交史上にその比を見ない、日清戰役の伊藤、陸奥の首相、外相、また日露戰役における桂、小村の首相、外相に次ぐ東條、東郷の大東亞戰爭開始に至るまでの外交的戰果は永く日本の青史に輝くであらう、皇軍の大戰果と併行して帝國外交の樞軸今や完し、今後の外交的戰果未だ期して俟つべしである、茲に本年一ケ年の帝國外交の足跡を顧みれば左の如くである

滿・華との絶對關係

帝國と滿洲國との關係は相互の絶對關係とも稱すべく各面にかつて質的協力を進めてゐることは言ふまでもないが、國民政府に對しても衞り國の長老本多熊太郎氏の出馬を求め、また西尾總軍司令官の後に畑俊六大將を起用し努めて國府の育成強化に努めた結果、六月中旬には汪國府主席の正式訪日となり畏くも宮中に參内、天皇陛下に謁見の榮を賜つた、帝國政府はまた同月二十八日國府強化のため三億圓の借款供與を發表した、國府の國際的地位は更に帝國政府の斡旋によつて七月一日獨伊をはじめハンガリヤ、スペイン、ルーマニア、ブルガリヤ、スロヴァキヤ、クロアチヤ等樞軸諸國が正式承認をなすに至りいよいよその強固性と威信を加へ、七日更新擴大された防共協定に參加し友好國との厚誼を深めた、今回大東亞戰爭の開始に當つては宣戰の名儀こそとらないが早く全面的協力を汪主席の名を以て中外に宣明する處があつた

泰佛印と同盟關係に入る

帝國と泰國とは昨年六月の友好條約に依り親密度を增進し、また佛印とは同じく昨年九月の皇軍北部佛印進駐に關する取極めに依り友好關係を確立してゐるので、帝國政府は昨年十一月末泰國と佛印間に國境紛爭事件勃發するや、直ちに停戰の調停に乘出したのであつたが、本年に入つて、東京に講和會議を開催、松岡外相、松宮大使斡旋の下に遂に三月十日、泰、佛印紛爭調停が成立、三國共同のコムミニケを發表した、當時火事の擴大を欲する英米兩國等の謀略國がこれに不滿を抱き虚報を流布、東京會談を策謀せんと試みたことは周知の事實である、越えて五月六日ハノイにおいて松宮大使とロバン經濟使節との間に『日佛經濟協定及び關稅制度に關する條約』の締結を見ると共に五月九日には帝國政府代表と佛國政府及び泰國政府代表との間に『保障及び政治的諒解に關する日、佛及び日泰間議定書』に調印を了した、『タイ』議定書は、相互親善關係の樹立維持の外、第三國敵性條約を締結せざる諒解を規定したもので、泰佛印の兩國が日本を盟主とする大東亞共榮圈のメムバーたることを確約した最初の重大宣言と言ひ得る、然るに佛印内にはド・ゴール派の策謀は擴大の兆あり、また歐洲において英軍とド・ゴール軍のイラク侵入あり佛印を繞る國際情勢は後に惡化し英國派軍とド・ゴール軍及び重慶政府西南軍は佛印に對して何時侵入するやも知れない危機が招來されるに至つたので帝國政府は斷然決意、ヴイシー政府と折衝を重ねた結果七月二十五日、ヴイシーにおいて加藤大使とダルラン副總理兼外相との間に『日、佛印共同防衛に關する議定書』の調印をするに至り、同二十九日皇軍は堂々南部佛印に進駐した、かくてわが國と泰、佛印の關係は愈々緊密化するに鑑み、帝國は八月十六日在泰公使館を大使館に昇格せしめるに決定、初代大使に坪上貞二氏を起用した、また佛印に對しては大使府を新設して元外相芳澤謙吉氏の出馬を煩はし十一月末特派大使に任命した、坪上大使はバンコック赴任以來ビルマ、マレーにおける英國の軍備增強の脅威下にあつて泰國の防衛と對策工作に付首腦と數次に渉り意見を交換し交渉が成立した、次で十二月八日早朝皇軍の泰國内通過に就き泰國側において便宜供與を求められて對米英開戰の十二月八日兩者の間には、日泰攻守同盟に就き完全なる意見の一致を見るに至り他方佛印に於ても八日芳澤大使の側面工作に依つてわが陸海軍最高指揮官と佛印當局の間に軍事協定の成立を見翌九日調印を完了した、かくて帝國と泰國、佛印との關係は不可分一體化し大東亞戰完遂の同盟に入つたのであるが今後は軍事協定に伴ひ資源開發、經濟提携が加速度的に進められることゝならう

英、米貨基準建廢止
對外爲替相場は圓建
あす省令公布

【東京電話】本邦における外國爲替取引につき大藏省では今回英貨または米貨を基準とした從來の對外爲替相場の建方を全面的に廢止し、自主的に爲替相場を決定する方針を新たに採用することに決定し、外國爲替管理法に基く省令を制定二十九日公布、明年一月一日よりこれを實施することになつた

しかして今回の自主的爲替政策採用の要點は

一、從來本邦爲替相場算定の基準としてゐた米貨建もしくは英貨建を廢止し本邦對外爲替相場はすべて圓建とする

一、從來の銀行間における協定相場は廢止し、政府が一方的に相場を決定し、自主的に相場の大綱を樹立するとともにその世界情勢にともなひ大東亞の大地より徹底的に驅逐せらるるとともに他の世界各地においてもさらにその凋落に拍車をかけるに至つた、この世界的大勢に應じ、大東亞における新金融秩序の確立を期し、相場はこれを發止し、政府が一方的に相場を決定する

賀屋大藏大臣談

【寫眞＝賀屋藏相】

大東亞戰爭の勃發により本邦對外金融政策はこゝに一大轉機を來したので政府はまづその第一着手として多年にわたり英貨または米貨を基準としたる對外爲替相場を廢止してわが國通貨を評價するが如き風をことごとく一掃した、なほ今後必要なる各國通貨についてはわが國を中心として政府においてその換算率を決定する、近年衰退の一路を辿りつゝあつた米英の世界的金融勢力は今次戰爭における皇軍戰果の如き崩壊に瀕してゐる、この際大東亞の地域における金融新秩序を確立することはわが國當然の責務である、政府は今回の措置を礎石として本邦を中心とし日本圓を根幹とする大東亞金融圈を設定し、新對外金融政策を推進するに必要な各種の方策を鋭意準備中で本施策を與力に實行に移す考へである

爲替相場公定措置要綱

一、爲替相場は從來の英米貨を基準として裁定する方式を廢止し政府において各國通貨の本邦通貨に對する換算率を直接に決定する

二、相場の標準はすべて圓貨をもつてこれをなす

三、相場は賣相場、買相場の區別をなさず、一本建とす、爲替銀行の賣買に對しては一定の手數料の徴收を認む

四、相場は大藏大臣これを決定し公表する

五、大藏大臣の定むる相場は電信賣買相場とし、但し緊急已むを得ざる場合は日本銀行または横濱正金銀行各本店の店頭における掲示をもつてこれに代へ得る

六、相場を公表すべき通貨の種類およびその相場は差し當り左表の通りとす

七、敵性通貨の公定相場はこれを建てず

八、（略）

九、外國爲替銀行の爲替取引に關する手數料、期限附手形の相場などについては銀行間において協定せしめ、政府の承認をうけしむ

印度支那貨（電信相場）百ピアストルにつき（邦貨）九十七圓六十錢（日本銀行内報）
▲泰國貨百バーツにつき百五十五圓七十錢
▲ドイツ國貨百マルクにつき百七十圓五十錢
▲イタリー國貨百リラにつき二十二圓二十五錢
▲フランス國貨百フランにつき九圓二十錢
▲スイス國貨百フランにつき九十八圓九十錢
▲スウェーデン國貨百クローナにつき百一圓五十錢
▲ポルトガル國貨百エスクードにつき十七圓二十錢
▲アルゼンチン共和國貨百ペソにつき百一圓八十錢
▲ブラジル國貨百ミルレイスにつき二十一圓八十錢
▲チリ國貨百ペソにつき十三圓七十五錢
▲ペルー國貨百ソールにつき六十五圓五十錢

對日上海財界 積極的に協力

【上海二十七日發同盟】米、英との政治的經濟的合作を行ふに當つての策源地として重要であつた香港が完全に我が方の手に歸するに至つたので、今や重慶政權の崩壊に對する純體機は上海華人を完全に支配するに至つた、この滿めは從來舊日の人生觀から離脱した際日本と經濟界と日本側との積極的協力へと姿を變へるものと見られ、今日今まで日和見的であつた上海華人、殊に財界人の我が工作への協力を契機として積極化するものと豫想される、すでに銀行關係財界人は日本側の經濟金融新秩序回復に全面的に協力し金融界の秩序回復に努力を續けつゝあるが、香港陥落に伴ふ舊法幣の不安激化しての努力を更に徹底の手による新法幣の強化といふ方向に向けるのは當然で、中央儲備銀行の支持能力一段と強力とならう、物資の點から見れば從來香港の英米系物資の上海への輸入額は上海物資の重要輸入の中繼港としての役割を果して來たのであるが、今後は南方共榮圏物資の上海への輸入又は上海工業製品の南方輸出の中繼港として更生することとならう、香港經濟の戰で上海市場に與へた影響はクリスマス休日のため市場が休會してゐるので數字的に表示することは出來ないが、現物金一萬元まで騰騰し先物は休日前の八、九千元から一萬元まで騰騰して法幣不安を反映してゐる

朝鮮油脂 六分据置

朝鮮油脂では廿七日午前十時から同社會議室において第十七回定時株主總會を開催、當期利益金處分案（配當年六分据置）を原案通り可決した、利益金處分（單位千圓）當期利益金五〇九▲前期繰越金二八〇、合計七九〇【この處分】法定積立金三〇▲從業員退職手當基金四〇▲役員賞與金一四▲配當金（年六分）二九六▲後期繰越金二〇九

日本車輛 一割据置

【名古屋電話】日本車輛では二十六日本社に定時株主總會を開催し本年下期決算ならびに利益金處分案（配當年一割据置）を原案可決

貸方 借方

〝産金朝鮮〟といはれる以上、業者は眞目にかけて増産に邁進せねばならぬにも拘らず一部業者の間には熱意を缺ぐ向が無いでもないやうだ▲フン々聲明以來、日獨伊樞軸を中心とする英、米兩國の手は窮地となり、戰獄は既に我方にあがりつゝある、そこで當局は米の行方がどうなるんだと心配してゐる向があるんだらう▲それは心配なし早い話が泰から米を買ふんでも金で決濟せねばならぬし、東亞共榮圏でも日本が中心に他は文化も低いんだから之を引つぱつて行くのには矢張り入用なんだ、金はいくら掘つてもいいんだ、だから政府の産金方針も不變なんだ、大いに掘るがよい

結核 テルモツベリン
本劑は三日に一回皮膚の一部に塗擦し、結核の高度免疫を獲得せしむ
十回量 十四圓　廿回量 廿四圓
文獻贈呈
大阪市天王寺區玉造町六 大阪藥物研究所 元 振替大阪三八八二四番

一月四日號 週刊朝日
大東亞建設戰爭特輯 定價十五錢
創造戰の門出……齋藤忠
十二億の民は同志……室伏高信
優位の資源解放戰……西谷彌兵衞
上陸作戰を讀ふ（座談）
殲滅する香港
特殊潜航艇とは……井田季和太
成長する日本（多色刷地圖）……和波豐一
皇國頌詞「君が代」と國體の眞佐……山田孝雄
日露開戰史話……横山健堂
連載小說 乃木大將……火野葦平
連載小說 上杉謙信……吉川英治
朝日新聞社發行

新年號 特價五十五錢
東京市麹町區内幸町
文藝春秋社發行 振替東京一七〇六三
二十周年記念 當選作
文藝春秋
詩の唇籠 菊池寛
大東亞戰爭完遂座談會 井澤弘・花見達二・中野正剛・伊藤述史・鹽谷溫・西村眞次・大串兎代夫・佐藤賢了
聖戰の本義 日本世紀社同人
大東亞戰爭の本質を闡明した注目すべき研究
民族世界觀の確立 大串兎代夫
世界的勢力か沒落か 河田嗣郎
アメリカ帝國主義 ホールヴエック
米國の戰爭挑發者 荒木時次
長期戰體制へ 矢部周
財界の決意 高田寬作
攘夷の精神 保田與重郎
山鹿素行 岡不可止
斑鳩尼寺 北川桃雄
優良町村視察記 打木村治
小說 旅愁 横光利一
當選短歌 民われら 谷 新田 武夫の妻 淺野はるみ 農を護る 森田夢の家
當選俳句 落國の秋 森林調査 退院兵 勞働隔片 佐藤秋二郎 近藤正典 黑瀨虎城
小說 守輝 古川洋三
論文 志士のこころ 眞木保夫

緊急時局研究會 アメリカを抉る
出席者 山本英輔・米内光政・...・安達二 桐山榮一・加田哲二・室伏高信
勝利われにあり 平出英夫・伊藤正徳・池崎忠孝
海と日本 長谷川如是閑
大東亞戰を論ず 室伏高信
日本評論 大東亞戰爭號 新年號 定價一圓
わが經濟の強靱性 本位田祥男・島田晋作・加田哲二
米英の野望 米田實・野村重臣
米英打倒論 杉森孝次郎・橋本欣五郎
座談會 戰爭の形態 出席者 石原莞爾・藤本武助・堀場信吉・小田良平・佐々木伸二・田中直吉
學國體制の論 大串兎代夫・津久井龍雄
第五回時局研究會 決戰政治の確立 岩淵辰雄・三木清・大森長・七（?）
國民に望む 安藤紀三郎
日米外交史 田中直吉
英國侵略史 黑川修三
小說 根無し草 外 廣津和郎 正宗白鳥
進め！南へ 岡本一平 濱田恒一 吉田榮太郎
日本評論社 東京・京橋三ノ四 振東京十六

この中に一枚一千ポンドの寫眞あり
カメラで殺く瀕死の星港

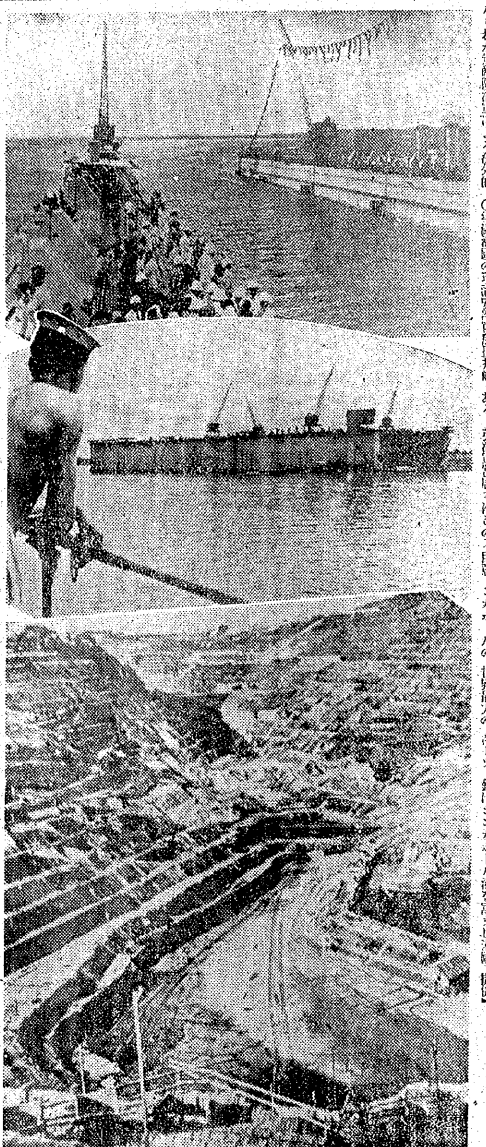
英國がその東亞侵略の軍事據點として莫大な資材と施設を擁し常に誇つたシンガポールもわが無敵陸海軍による決死的猛攻の前に今や落城に瀕しつゝあるが、これは同軍港が如何に大掛りに出來てゐるかを物語る偉大な浮ドックの完成記念日當日の寫眞である、この貴重な寫眞入手については面白い插話がある、一九三〇年頃某國の現首相某上校(當時少佐)が外遊の歸途シンガポールに寄港した際同港で日本人運轉手が同上校を陸軍將校と思つて贈呈したものでこの寫眞は同地の一英人寫眞屋が無許可で撮影し記念日當日頒布したものである、英海軍當局ではこの不用意な寫眞頒布に狼狽し直ちに回收策を講ずるとともに一枚につき一千ポンドの懸賞金をつけて回收に狂奔したものである【寫眞＝上】

◇　◇

五萬トンの巨艦を優に收容するシンガポールの世界最大の浮ドックは、はるばるアフリカを迴り印度洋を航海してこゝに來たものであるが、これも間もなく日本軍の手におちることだらう、【寫眞＝中、世界一の浮ドック、朝鮮軍報道部提供】

◇　◇

錫はシンガポール港を富まし米國は錫のお蔭でますます防備を固めてゐるといはれるほど莫大な生産額を見てゐた、この膨大な錫も皇軍進撃の前に風前の灯と化したシンガポール港と運命をともにする時が來た【寫眞＝下、朝鮮軍報道部提供】



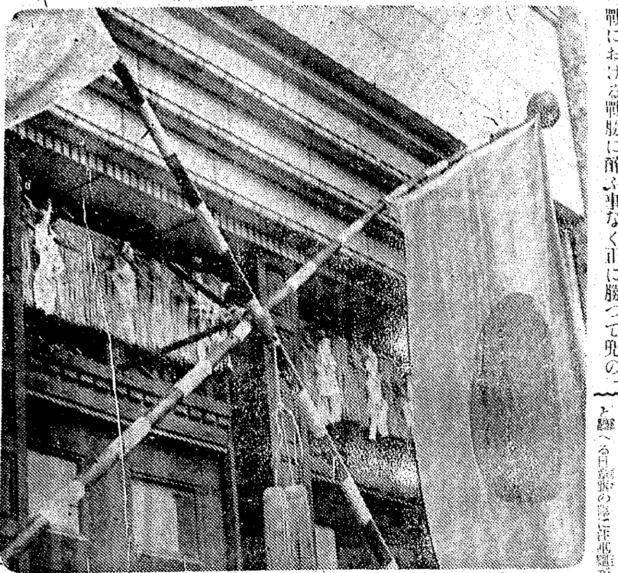
戰ふ時なり油斷大敵
緊めよ年末年始
朝鮮軍發表

亞細亞侵略の野望に燃えた敵米英に蹶然起つて聖戰の大詔を下してより早くも二旬、米が豪語した太平洋艦隊全滅し東洋侵攻の據點グアム、ウエーキ兩島占領され最後の防壘比島は既に風前の灯完全攻略は時間の問題となり、英が頼みの香港陥ち馬來、シンガポールの命旦夕にせまり、もろくも潰えた米英は總退却の姿勢にある、この赫々たる皇軍の戰勝は肉をそぎ骨を削る將兵血の苦鬪の賜で一億銃後は感謝の誠を捧げるとともに更に結束を固め火の玉となつて聖戰目的完遂に突進しなければならないが、北邊警備の護りに挺ずる朝鮮軍では廿七日防衛態勢をもつて歳末年始に弛みやゝもすれば緒戰の戰勝に浮び放逸の氣に流れ易い民心を戒め全鮮二千四百萬人に對し〝油斷あるべからず、人心の浮動は敵の乘ずべき好機なり、敵の謀略に警戒を怠るな、勝つて兜の緒を締めよ〟との一大警告を發した

【朝鮮軍二十七日發表】＝十二月八日宣戰の大詔渙發せられ茲に二旬、海に陸に赫々たる戰果を見たるは洵に感激の至りに堪へざる所なり、皇軍將兵の第一線は勿論、銃後においても皆克く義務奉公の誠を効したる結果に外ならざるなり、なかんづく我版圖内未だ一發の爆彈の洗禮をも受けざるは誠に冥加の至りと申すべく古人『御民われ生けるしるしあり』と道破せるは恰も現代生を皇國に受けたる吾々のために歌へるかに覺ゆるものなり、一億同胞は正に光榮ある日本國民たるの喜びと誇とを更に深くするとゝもに聖戰の目的貫徹の爲め一層の思索を廻らすべきなり、顧つて前途を眺むる時前途遼遠なるものあり緒戰における戰勝に醉ふ事なく正に勝つて兜の緒を締むべきなり、戰ふ時なり油斷あるべからず、歳末歳始人心の浮動は以て敵の乘ずべき一機會たるを失はず今や海上制覇成り陸上の陸戰の際にあり敵て進攻の餘力無かるべしと雖も窮鼠反つて猫を食むの譬あり新春屠蘇香溢るるの街頭敵機襲來の警報を開くことなきを保せず國内防衛態勢は當局の適切なる指導と國民各位の自覺と愛國心とに依り着々進められあるを信ずるも時局にかんがみ一層緊張して戰捷第二年の新春を祝ふと共に今秋實施せる防空訓練の跡を顧みて不備を改め缺を補ひ十分待つあるの態勢を整へ以て何時如何なる事態に立ち到るとも不覺を取ることなからしむると共に放火等一切の敵性謀略に對し十分警戒を怠らざらんことを切望する次第なり

官舍荒し捕る

忠南大德郡杞城面出身生れ、前科一犯金寬洙(二七)は去る廿四日午前四時ごろ京城西小門町總督府官舍を軒並に荒し廻り洋服衣類ミシン等約八百圓を窃取和泉町一六ノ一金宇範方に潜伏中を廿六日未明西大門署員に捕へられた



見よ悠久日本の姿
戰勝の街に注連繩

戰捷の春とばかりに香港落つと國民の感激を乘せてはためく日章旗の陰に注連繩が張られてゐる、つぶらに飾りゆく大東亞の黎明を照らしてゆくべく、繩の撚の太さはこの年の勝利を物語つて清かに垂れる、ビルの入口に飾られた迎春の注連繩は悠久のその昔高天原の杜の神床に〝八紘を宇となす〟と神武天皇の詔りたまうたときのそのまゝの注連繩だ、逞しくおほいなる精神を受け繼いでこゝに二千六百二年正義の敵米英撃滅に一億のこころ燃ると き日章旗は半旗にへんぽんと翻へり注連繩は寂として遠き精神に徹する【寫眞＝廿七日府廳正面玄關に掲げられた注連繩】

皆勞、節約、貯蓄
―これが我らの守る三原則だ―
川岸總長 マイクから全鮮に檄

大東亞戰爭の樣相はその好むと好まざるに拘らず、愈よ長期の備へが必要となつて來た、對米英開戰以來赫々たる皇軍の勝利に早くも驕つた國民が稍もすれば安樂感に浸り南方資源の獲得を夢みて現實を忘れ勝れてゐるやうなことはないか、この國民の弛みこそ最も恐るべきところなのである、國民總力朝鮮聯盟事務局總長川岸文三郎氏は廿七日午後七時DKマイクから全鮮に向けて國民の愛國心を呼び起し、皆勞、節約、貯蓄の國民三守則を中樞として進むべき道について明確に示し、彼等米英の我が實力過小評價によつて得た緒戰の失敗は必ずしも米英の弱小を意味するものではなくむしろわが他山の石として深く戒めて益々實力の充實に勉め大詔を拜して幾何もない、緒戰の勝利に醉ふことなく支那事變以來養つて來た聯盟愛國班の強き團結力を發揮して〝戰ひはこれからだ〟の覺悟を一層強固にすべきであると烈々愛國の至情を訴へて約廿分間放送を行つた【寫眞＝放送の川岸總長】

想ひは血の記録
上海から長驅南京攻略に偉勳
行賞に輝く永津師團長

晴れの光榮を擔ふ第廿五回生存者論功行賞に功三級金鵄勳章の榮譽を拜した京城師團長永津佐比重中將は支那事變の緒戰上海の激戰から長驅南京攻略に偉功を樹てた部隊長であるが同中將は戰塵の裡に部下の忠勇を讃へないと謙譲のうちに語る

多數の部下をいためて行賞の沙汰を拜することはまことにしのびない

部下

將兵奮戰の功によるものである、忠勇なる部下の勇武をいま靜かに偲んでゐる、十二年八月十四日の日曜だつた決死挺身して呉淞沖から敵前に上陸した、既に上海市街は炎々と燃え凄慘を極めてゐた南通州に引き込めと敵謀してゐた、戰鬪は極めて困難なるうちに展開された、小隊長以上を集め水盃して再び相見ゆることなきを覺悟して戰つた、掩護物のない水田を泥濘深になつて進み進んだ、上海を陷し南京への決死行、思ひ出はみんな部下の勇敢なる戰鬪の賜ものだ、今日の光榮に更に

鐵石

の奉公の決意を固めて大東亞戰爭聖戰に邁進する覺悟だ、銃後の諸君もどうかしつかり頼みます

行きて實踐せよ
法專卒業式に總督の訓示

南總督臨席の光榮の下に廿七日午後一時から行はれた京城法學專門學校の第廿回卒業式は同校講堂で増田校長以下各職員及び七十三名の卒業生感激の裡に四時終了した、從來は本府局課長の臨席すら稀であつた專門校の卒業式に總督と共に眞崎學務、鈴川司政兩局長まで顏を揃へて出席したことは全く前例に見なかつたところなので詔書、賞狀を受ける生徒達も強い感激に打震へ生徒代表藤森重博君は『總督閣下並に校長先生が進むべき私達の道をお示し下され……』と後は淚に曇つて固唾ふ人達の目まで潤ました

増田校長の懇々たる最後の別辭が終つて今まで半眼に慈しみをたゝへて生徒達を見廻してゐた總督はやをら立上ると壇上に進み三十分に亘つて懇篤溢れる告辭を行つたが最後に一段と聲を高くして『勉めよ勵めよ各々向ふ所に行け、然して臣道を實踐せよ』と勵まして すすり泣く卒業生達へ慈父の愛を垂れた

卒業式終つて直ちに同校々庭に集合した全校生徒は再び南總督の來場を迎へて嚴粛の分列行進を行つたが總督は最後の一學年の行進まで見送つて同四時半終了した【寫眞＝卒業生に訓示する南總督】

默禱をせぬ早大生

京城明治町二丁目八八ノ三京畿田大學商科生某(二〇)は廿七日正午ごろ京城驛から西大門に向ふ電車の中で、乘客すべてが感謝をこめて聖なる默禱を捧げてゐるのにも拘らず、早大の制服制帽姿で横着をきめこんでゐるのを乘合せた京城警察部外事課の松浦刑事が發見、西大門署へ連行途中、脱兎のやうに逃げてしまつた、同署ではこの不埒な非國民的不良學生を嚴探中

征戰二旬、一六五機
荒鷲へ捧ぐ半島の赤誠

撃滅、米英の驕慢にひとたび起てば皇軍陸に海に輝しい世界の戰史を打樹てゝ燦爛の輝く榮進する勝報に、銃後半島は愛國の至情、熱誠が軍用機の獻納、國防獻金、恤兵獻金に乘せて半島空前の軍國譜を奏で幾多の美談佳話を綴りあげてゐるが、こゝに去る八日大詔渙發以來二旬に亘つて火と燃ゆる全鮮の烈々たる愛國の結晶を軍用機獻納運動にみると廿七日朝現在で先づ咸南の卅八機を筆頭として實に百六十五機、一方朝鮮軍愛國部への獻金總額は七十五萬八千五百七十二圓八十二錢、海軍武官府へは四十八萬四千九百七十九圓九十三錢といふ決戰半島の總力態勢を鐵桶陣に備へてゐる、米英撃碎をめざして勇躍無敵皇軍の陸、海鷲陣に馳せ參ぜんとする半島獻納の軍用機はざつと左の通りである

▲軍用機獻納

平壤元子の分(十機)國民總力朝鮮聯盟(二機)京畿小賣人商會(三機)朝鮮ゴム工業組合(二機)全鮮菓子業組合(一機)白川業中樞院號―京城(一機)なほこの他軍用機獻納資金として獻金の分は取纏め中

計畫進捗中の分(二十機)全鮮鑛山聯盟(六機)京城府民號(六機)京城府民號(二機)朝鮮教育號(二機)土建協會(二機)朝鮮海運(一機)

女も戰士だ
内房を蹴つて獅子吼

〝内房から大東亞戰爭へ〟―と銃後半島女性が無敵皇軍に感謝して蹶起した決戰婦人大演說會は、朝鮮臨戰報國團主催で廿七日午後六時半から京城府民館大講堂を感激の坩堝と化せて開かれた、會場は半島女性の口から迸る愛國の熱叫を聽かうと押寄せた二千の男女聽衆が階詰めに埋めてゐる

定刻演說者も聽衆も襟を正して起立、宮城遙拜、默禱を捧げてのち、林孝貞女史が颯爽と

登壇

すると割れるやうな拍手が送られる「涕淚より起てよ」と題した銃後の熱辯は第一次歐洲大戰におけるドイツの經濟的敗戰の例をあげて戰爭は兵力だけで勝てるのではない、かつてドイツは戰爭の鑛貨收收を怠けたゝめにマルクの貨幣價値が大暴落してつひに敗戰したのだ、いま諸君がもつ十萬圓の財産がその價値を増殖するにはいまのうちに債券を買求めて國を護り自身を護るべきであると戰を叫いて國債消化を

力說

つゞいて『軍國の母』崔貞熙『女性の武裝』天城活蘭『國防家庭』朴順天『家庭の新秩序』任淑宰『銃後女性の覺悟』許河伯『女性も戰士だ』毛允淑の諸女史が大東亞の興廢をかけた米英膺懲の聖戰に半島一千二百萬女性が進むべき道を說けば感激と興奮に澄んだ聽衆は割れるやうな拍手をもつてこれに應へ會場は赤誠の嵐に沸き返つた【寫眞＝決戰婦人大演說會】

アパート獻金
彩雲莊から二千圓

陸鷲香港陥落の快報は銃後半島を感激と興奮の坩堝に叩き込み獻金部隊の殺到は連日夥しい數に上つてゐるが京城東四軒町三八彩雲莊アパートでは海軍少將某校長の主唱で廿日午後七時から食堂ホールで住居人五十餘名が集り〝よくぞ陥して下さつた〟と心からお祝の盃も高らかに愛國の至情を迸らせ獻金を申合せ忽ち二千圓を陸海軍への獻金として獻納するとゝなりアパートの珍しい愛國熱を發揮した

歌へ愛國歌詞
學務局で募集

阿修羅の如き皇軍の猛威發進はウエーキ島を陥し、英國の東洋搾取機構香港を完全降伏させて、銃後一億は世界史が一日一日と新しい頁を作つてゐる大東亞戰に限りない感謝となり感激となつて、獻金に職域奉公に銃後國民運動にとなつて現はれてゐるが更に皇軍に對する熱烈な感激を詩歌に託して愛國の迸りを示すものも多數あるので、總督府學務局では全鮮學校の教職員生徒、一般から愛國歌詞を募集することになつた

應募規定は國民的決意を詠み込み、國民學校などの唱歌として適する歌詞で形式は自由、締切は別に指定せず學校の場合は各校で選擇して優秀なものを總督府編輯課へ送ることになつてゐるが、一般からの投稿も大いに歡迎する、優秀なものは作曲して全鮮青少年の教材として用ほせ、又は教科書に採錄することもある

なほこれと同時に京城の詩人を動員して愛國的作品を次々に發表する計畫もあり誠にする愛國歌謠の進軍譜が高らかに奏でられてゐる

唐辛子㊣改正

調味料として珍重され半島人の食膳に不可缺の唐辛子の最高販賣價格が廿六日左の通り改正された

▲刻唐辛子粉一圓七錢 ▲唐辛子粉上一圓、並六十一錢 ▲碎唐辛子粉上九十五錢、並五十九錢 ▲乾唐辛子自分に對する小賣最高値朝鮮産及び內地産四十錢、支那產及滿洲産四十錢

話題特急

☆……一千二百萬の半島女性が大東亞戰爭完遂を誓つて起ち上つた廿七日夜、京城府民館での決戰婦人大演說會の壇上を、盲目の身を一本の杖を頼りに默々ときゝ入つてゐる青年がゐた

☆……京城元町一ノ八七按摩さん松山鍾化君(三〇)がその人で同日府民館に同業者多數が參集、楽しいお正月を迎へる陸軍病院や出征軍人遺家族を訪れ、不自由の身を並びて鍼術の施療を奉仕することを決議

☆……その陳情に一層感激の度を高めようとこの婦人大演說會場に飛びこんだものので、その痛ましい姿は眺める聽衆をほろりとさせた【寫眞＝松山君】

國防獻金
本社寄託〔廿六日扱の分〕

‖陸軍省へ‖

壹萬圓 京城府永樂町二ノ六九天理教京城大敎會外附屬教會百十七ケ所
五千圓 京城府南山町一ノ一六 土井誠一
二千五百圓 京城府鍾路一ノ四二朝鮮綿反小賣商組合
一千圓 京城府黃金町二ノ七一多田工務店工務會員一同
一千圓 京城電話局組合員一同
五百圓 京城府通り通一ノ一京城吳服商組合一同
三百七十五圓 東京芝浦電氣會社仁川工場從業員一同
三百圓 京城府本町一ノ五京城衣房具商組合
三百圓 京城府蓬萊町一ノ一七 横尾治八
二百七十圓四十錢 京城府大島町愛國、國防婦人會大島町分會
二百六十圓 京城府南大門通三ツヅキ商會一同
二百五十圓 京城府東四軒町 片山謙三
百五十六圓六十六錢 仁川府昭和町ジーゼル自動車工業朝鮮從業員一同
百四十五圓 京城府古市町濱田工務所從業員一同
百圓 京畿道警察部經濟課內農友會相川外八十四名
百圓 京城府太平通二片倉米肥京城營業所員一同
百圓 京城府古市町 田崎重作
百圓 京城府青葉町一ノ八九 増村文雄
百圓 京城府若草町九八 高田太一郎
百圓 咸南小野田セメント會社社宅婦人美容甲會
八十八圓十八錢京城府孔德町一〇五松本善信▲五十一圓八十錢京城府古市町四三タサキ商會職工一同▲五十圓京城府御成町六九牧野善男▲五十圓京城府竹添町一ノ六五第一生命西大門支部員一同▲五十圓京城府新堂町五二ノ四吉原庸太▲五十圓京城府新堂町三九三平島仁夫▲五十圓京城府岡崎町九八ノ一四法華宗佛立龍山教會一同▲十五圓仁川府松林町八〇金炳權▲十圓二十一錢平北龜城郡龜湖洞金子甲生▲十一圓十一錢京城府明治町一ノ七七菅千代▲十圓京城府觀通町四六德本瑛子▲七圓五十錢京城惠化國民學校三年四組一同▲七圓京城府古市町四三田崎千代乃▲六圓八十五錢京城府光熙町一ノ六三加藤相明▲五圓六十錢京畿道儒城國民學校京畿二十一名▲五圓二十錢京城府清溪町平山正▲五圓京城府光熙町一ノ六三松原武和▲二圓京城府櫻井町一二九柳原武夫

‖海軍省へ‖

壹萬圓 京城府東四軒町五〇 播本恒太郎
五千圓 京城府南山町一ノ一六 土井誠一
五千圓 京城府旭町一ノ八二千代新 森睦 拓代
千圓 京城府青葉町二ノ七一多田工務店工務會員一同
千圓 京城府電話商組合員一同
三百七十五圓 東京芝浦電氣仁川工場員一同
二百七十圓四十五錢 京城府大島町愛國、國防婦人會大島町分會
二百五十圓 京城府東四軒町西 片山謙三
二百圓 京城府鍾路二ノ七 高岡トシ子
百五十六圓六十六錢 仁川府昭和町ヂーゼル自動車朝鮮製造所員一同
百五十五圓 京城府旭町一ノ八二千代新方仲間一同
百圓 京城府太平通二ノ三九片倉米肥京城營業所員一同
百圓 京城府青葉町一ノ八九 増村文雄
百圓 京城府若草町九八 高田太一郎
百圓 京城府鍾路二ノ七德永食堂女給一同
百圓 京城府古市町四三 田崎重作
百圓 京畿道農務課內農友會相川外八四名
五十圓京城府御成町六九牧野善男▲五十圓京城府竹添町一第一生命西大門支部員一同▲四十圓京城府大和町三ノ七六大和町二、三丁目愛國婦人會一同▲二十八圓三十一錢江原道內平康國民學校愛國班▲二十八圓四十六錢京畿道眞乾國民學校▲二十圓五十五錢京城府水下町六五奥島昭、同弘▲二十圓仁川府旭町博文學校第五年二組一同▲四圓二十五錢京畿道普明學校愛國班一同
日計金四萬七千二百八十一圓三十九錢也
累計金四十一萬一千九百三十七圓十六錢也

皇軍慰問金

千圓(陸、海軍へ)京城府竹添町一ノ九〇朝鮮鑛山用機械器具製造統制組合役員一同
累計金九萬三千二百四圓六十八錢也

總計金五十萬五千百四十一圓八十四錢也

朝鮮の御土産は 富田商會へ

池田の甘栗

體力強化・過勞消散 同善 カロチレン錠 ロプ・ビタミンA總合劑 一〇八錠 三圓 關西總代理店 大阪 丹平商會分店

東寶 高映
望樓の決死隊 出演男女優募集
募集規定
人員 男女各若干名經驗の有無を問はず
年齡 男―二十歳より三十歳まで 女―十七歳より二十三歳まで
提出物 自筆履歴書及寫眞一葉(一切返還せず)
締切 一月十五日
面會日その他は追て通知します(面談・照會・電話・一切謝絶)
提出先は 東寶若劇俳優募集係宛
東寶高麗映畫第一回提携作

◎地方配給所願書締切日通知
一、當所地方配給所希望者願書ハ定員ノ都合ニヨリ昭和十六年十二月三十日正午限受付ヲ締切ル
二、設置ノ可否ハ願書ニツキ詮衡ノ上夫々通知ス
右通知候也
京城府吉野町一丁目一一六番地
◎興亞特許品朝鮮總配給所
電話本局四六九三番

紛失爲替手形無効廣告
右爲替手形去る十二月二十五日仁川より京城黃金町に至る間に於て紛失候に付ては該手形は自今無効に付此段廣告候也
昭和十六年十二月廿六日
仁川府朝日町三四番地 天合棧 盛記 電話八三五番

パッキング 保溫保冷工事設計請負 オイルシート 石綿
東京日本橋 東京石綿株式會社 朝鮮總代理店 釜山府 月田商會

武田産婦人科病院 武田産婆學講習所
京城府長谷川町(朝鮮銀行橫) 醫學博士 武田正房 電話本局(2)四五四五番

薔薇 茸トニク

ティアイチク 御家庭の娛樂 健全娛樂の粹!
大利根川 杉野よいづこ ほまれの兒 宮本武藏 少年工歸る朝 姉は嘆かず 猫間の神木 空の若武者
赤穗義士傳 清水次郎長傳 鹽原孝子傳 桑商紀文傳 大忠臣藏

改造社 東京市芝區新橋七 振替東京八四〇二〇
アメリカを支配する六十家 F・ルンドバーグ著 和田克巳譯 下卷出來 定價二・三〇 送料〇・一四
北氷洋漂流記 K・バデーギン著 米川正夫譯 下卷出來 定價二・三〇 送料〇・一四

毛生え藥 博士創製の フミナイン 發賣元 東京藥院

内閣印刷局 官廳圖書閲覽所 京城官報販賣所

補血強壯に ニユートン

株式名義書換停止公告 大陸ゴム工業株式會社

商品券發賣停止に付謹告
決戰體制下に於ける時局の重大性に鑑み今般朝鮮百貨店組合に於いては鮮内各地本支店共來る昭和十七年一月一日以降、商品券の發賣を自發的に停止致す事と相成りましたので、茲に謹告申上げます。
尚既に發賣濟みの商品券は、從前通り有効に付、御心配なく御使用の程御願申上げます。
昭和十六年十二月廿七日
朝鮮百貨店組合
丁子屋百貨店 三越京城支店 三中井本店 和信百貨店 平田百貨店 高周波商店

京城版

出征軍人遺家族へ金一封

出征軍人の遺家族を守りませう」と竹添町々會では町内の軍人遺家族に夫々金一封を贈ることになつた

軍用機建造に 五萬三千圓 柳韓洋行から献金

京城西大門町一、柳韓洋行社長柳原博、監務幹村須秀兩氏は廿七日總督府に石川部長を訪れ五萬三千圓（柳韓洋行二萬七千圓、滿洲柳韓公司一萬圓、柳韓貿易五千圓、柳韓洋行重役社員一千圓）を差し出して軍用機建造資金に献納すべく寄託した【寫眞＝柳原博氏】外國藥品を取扱つてゐた柳韓洋行は征戰とともに歐米依存を一擲して會社の機構を改變、その記念に柳新社長以下社員が一丸となつて愛國の至誠を披瀝したものである

花街の赤誠 一萬一千圓を献金

身持つて參つたのですからマア、この氣持だけ買つて下さい」新町貸座敷業組合（組合長仲田佐一氏）では香港陷落に感激の献金を思ひ立ち卅一軒の樓主が一萬圓、仲居さん（一四〇名）が千圓、合計一萬一千圓を廿七日陸海軍兩部へ夫々献金した

こつそり一萬圓 土井さん本社へ寄託

京城の石炭商南山町土井義一氏は香港陷落の廿六日朝本社を訪れて國防献金として一萬圓を差出して「之を陸海軍へ各五千圓づつ差上げて下さい」といつたまゝ逃げるやうに立去つた、土井氏は人も知る石炭業はかに現在の四つのアパート經營者であり寸暇も身に持たぬうらを使用人にも頼ます自身で持參したとは富豪にも珍しいことであつた、土井氏は語る

「僅か一萬圓ばかりでお恥かしいです、必ず新聞には書いで下さるなよ、早く献金しようと思ひながら仕事が忙しく機會を作ることが出來ませんでした、御國の爲に働いて下さる陸海軍へ差上げるのに人を使つてこの金を屆けたのでは意味をなしません…といつたやうな氣持で私自身…

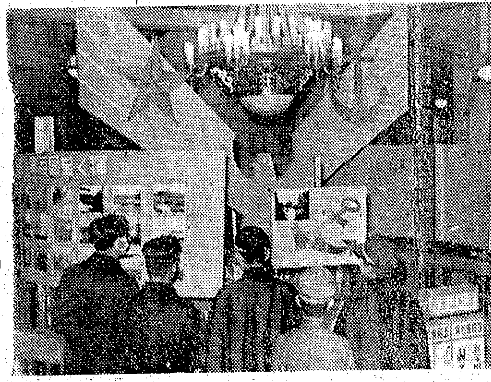
『子供隣組』からも献金

元町三ノ一十方富代君（一）は附近の子供五名に呼びかけて『私達も大人に負けないやう』お國のために獻金した

"穴"こても有閑は禁物 三越で『海軍の威容寫眞展』

展覽會を簡易に催して大衆の心をグツと掴みたい……と頭をひねつてゐた三越で〝これは名案！〟と手を拍つたのは一階入口に迎えとなく存在してゐた〝死穴〟の利用であつた、池際マーケツト部の容量流通を役目とし豪華な裝飾が施された穴、非常時局下であつては全く外聞が悪く「輝く皇軍海軍の威容寫眞展」の會場として蘇んで奉公してゐる 京城任動海軍武官府の提供になるスチール寫眞數十葉は〝生きた戰陣訓〟として一日一萬の出入客に崇高な海軍魂を吹き込んでゐる

廿四日には栗木大佐も來場「ホー、これや上い思ひつきだや……」と賞讃した會期は卅日まで【寫眞＝〝死穴〟利用の展覽會】



府議から一萬圓 『京城府民號』献納熱へ拍車

飛行機〝京城府民號〟への献金は白島府民の赤誠を示して頗る活況を呈しつゝあるが、廿六日府會議員は府議會議室に懇談會を開き京城府民獻金として金一萬圓を醵出することに滿場一致決定、盛り上る府民獻納運動に拍車をかけることとなつた

南米倉町愛國班の赤誠 香港陷落の捷報に感謝

した南米倉町第八區四班では廿六日班長他一人が代表者として本社を訪れ、金百卅三圓卅三錢の献金手續きをとつた 同愛國班では去る八日、米英開戰の大詔が渙發せられるや「我々婦人も起ち立たずにゐられない」と今迄よりも一層緊張たる態度で家庭を守り、一致協力して勤勞奉公を決意し爾後に使る貯金を運んで貯仕事をして貯へた赤誠の獻金である

決戰下に誓ふ 新商道實踐 永登浦商榮會が擧行

征戰貫徹　新商道昂揚大會

昨年開夜が香港陷落を防いて降伏して來た、その誇り有る東亞の牙城とたのんだ香港が、たつた十八日間で陷落させて迫り江南に城を攻め落とした、定めて感激に沸き立つ江南の十萬市民に、〝緒戰の戰捷に醉ふな〟まだ先は永い〟と永登浦署の石川經濟主任の發聲により永登浦商榮會では廿六日午後七時から武德館で征戰商道新商道昂揚大會を開催した

開會始終が一同起立の裡に新帳大捷の戰果が何よりも立證して居ます、諸君は無敵皇軍を絶對信頼し必勝の信念を堅持すると共に官の指導に指示を尊重し愛國の赤心を披瀝して職域奉公の誠を致されたい

と香蕭火を吐く熱辯なる挨拶をかねての時局講話があり續いて『大東亞戰爭と銃後國民の覺悟』に就て岩下高等主任『大東亞戰爭と商工業者の勝ち道』と題し石川經濟主任、防火、防空強化に就て加藤防護主任それぞれ燃烈の至誠を吐露し聽衆に多大の認識と感銘を與へ飯塚會長の宣誓文朗讀、皇國臣民の誓詞齊唱があり 天皇陛下萬歳陛に皇軍萬歲を三唱して會を閉ぢ終つて飯塚會長の音頭取りで立ちどころに陸軍へ各五百圓宛一千圓の獻金方を永登浦署へ委託すると共に東大時局下國策に順應して新商道實踐、貯蓄報國に邁進せんことを申合せて同十時半盛會裡に散會した【寫眞＝新商道昂揚大會】

諸君、畏くも大詔を拜して一億國民は決死敢身、東亞の咽喉から米英を驅逐し大東亞戰爭が勃發したのでありますこの戰爭こそ帝國の隆昌を賭しての未曾有の大戰爭でありまして一億同胞が眞に打つて一丸火の玉となり征戰途行に邁進しなければならん超國家的關頭でありますが、しかし戰爭は必ず勝ちます、それは職…

謝禮の〝おやつ代〟を献金 感心な夜警團員

朝鮮皮革會社々長中川良民氏はこの御時世に物を焼いたり盜られたりしては御上に對して申譯がない」と深夜の烈風寒宿をものともせず拍子木の音も凛々しくお勤めの街を廻る愛國班の夜警團員に感謝し永登浦北部町特設區第二班長に「僅少ですがどうぞ夜警員の〝おやつ〟代にでも…」と金卅五圓を贈つたので遠藤班長は早速班員に中川氏の厚意を傳へたところ、班員は異口同音に「今時〝おやつ〟なんか贅澤だ、その金は海軍へ献金しよう」と申合せ本社永登浦支局を通じて献金の手續きをした

廢品を拾ひ集めて献金 可憐な兒童達

陸部香港の陷落は「ヨイコドモ」の小さい胸にも熱いものを躍らせて「あたし達も御國のためになることをしなければ……」と思ひ詰めた永登浦國民學校二年牛山崇秀雄ちやん（八）同一年牛井上康重ちやん（八）と山本ツネオちやん（八）達は廿五日早々しくも朝から街を練り廻つて廢瓶其他の廢品を蒐集して附近の古物商に賣つた代金三圓卅五錢を二十七日三人揃つて本社永登浦支局へ持參し「強い海軍の兵隊さんに差上げて下さい」と献金方を申出た

可憐な献金

支那事變で京畿道楊州の戰ひに名譽の戰死を遂げた故平山榮道君の弟東大門國民學校二年生石島佳和君から「ニュース映畫で日本軍の勇ましい強い姿を見て感激しました」と金十圓を國防献金として廿七日本社へ寄託したが〝この兄にしてこの弟あり〟と學校内でも評判されてゐる

商店員の赤誠

京城西小門町四一藤澤友吉商店京城支店では無敵皇軍の赫々たる戰果に感激、支店長代理藤守五兵衛氏が店員として金三千圓、之に四十名の店員達が赤誠をこめた五百四十圓八十錢を取り纏め廿七日藤守氏が持參本社を訪れ陸海軍への献金として寄託した【寫眞＝藤守氏】

子供達はお休みに子供等組を結成、大人にも及ばぬ働きぶりを示して附近のヲヂさん、ヲバさん達を感心させたが、香港陷落を聞くやヨイコドモ達は早速日頃貯めてゐたお小遣ひを持ち寄り金十圓卅二錢を十方君が代表となつて廿七日龍山署を訪ね國防献金を申出で係官に褒められた

鑄物製作所從業員の赤誠 本社へ寄託 一千餘圓を

廣改十七日東亞戰役の牙城香港は遂に陥落した、白年の鬱憤を晴らした感激に府民の赤誠は連日献金となつて沸いてゐるが、廿七日午後二時ごろ京城京町一京城鑄物製作所代表者田分署四郎氏は從業員代表黃今到さん及び金容熙さんの兩名を連れて本社を訪問「海軍航空隊の擧げた赫々たる戰果にはたゞ感激あるのみです、これは僅かですが從業員一同が自發的に献金したものです、どうか海軍の方へお手續をお願ひします」と金一千百卅六圓を差出し、從業員百二名の赤誠を披瀝した

ラヂオ

朝

廿八日（日）
▲六・二〇大陸洋地誌（三）澤田謙▲七・二〇國民の愛唱歌本健次郎愛國詩「大東亞戰史序曲」御橋公▲九・〇〇勝利の記録第三輯（錄音）一〇・〇〇（大）吹奏樂と軍歌

晝

正午管絃樂▲一・〇〇一舞臺劇澤村宗十郎外２講談小金井蘆洲

夜

六・〇〇お話「職ふ軍艦長」成井田郎▲六・三〇「目覺めるモンロー主義」鶴見祐輔▲七・二〇週間戰況▲八・〇〇軍事發表▲引續き長唄「勸進帳」杵屋佐吉小十郎外▲九・〇〇物語「榮榮の護り」澤村田之助▲一〇・〇〇盛り上る外地大陸の聲（上海）「上海の現狀」渡正監、２（臺北）「大東亞戰爭におけるる臺灣島民の決意」許內外３（北京）「大東亞戰爭勃發と華北民衆の動向」佐々木健兒

第二

午後一・〇〇浪花節「七福の出世」崔八根▲六・二〇戰時家庭の時間「職場と母性の決意」朴思惠▲七・二〇我等の決意白翎▲七・三〇「總演上から見た米國の危機」周牢直植▲八・〇〇新講談「名將群像」洪木春▲八・二〇朗讀「決死飛行」揚俊植▲日獨伊行進曲集（レコード）▲九・二〇大戰週史李允稙

十字路

◇……新聞その他で傳へられたもの＼永登浦署高等係加藤部長は年末警戒で徹夜した翌日も何時もの通り早朝出勤するので

◇……これに氣がひける同僚から「どうしたんですか、こんなに早く…」と訊ねると加藤氏すました顏で「いや、家には石炭がないから警察に來た方が温いのでつい一寸早く…」と答へた

◇……これを聞いた同僚××氏は早速方々の石炭屋へ交渉を開始したのでこれには流石の加藤氏も困惑らず「いや實は、滅私奉公の秋だ、仕事も多いので早く出たものの諸君にさうもいへないので…」と漸く本音を吐いたので××氏も感心した顏付で「ナール程……」

歌はぬ勝利（102）

山中峯太郎【作】　高木清【畫】

愛と血（三）

公子は、十字路に近い新道の上に立ちどまつたきり、しばらく涙をふいてゐた。陸軍の射的場の長い土手に沿うて、こゝまで來たのだ。あたりに誰もゐなかつたといつても、泣きながら歩いてきた自分なのに氣がつくと、また、あとから涙が出てくるのを、すつかり拭きとつてしまつた。けれども、初めて知つた自分の生ひたち、お兄さまと「結婚」する……それがお父さまからの遺言であつたといふ、とてもほんたうには思へないことが、あゝしてお母さまの口から茶の間で話しだされたのだ。と、公子は、どうしても泣かずにはゐられないのだつた。

―あの「お乳母」といつてゐた人があたしを生んだ、ほんたうのお母さまだつたのか。

このことが、どうしても、そのとほりには思へない。それよりも公子が、涙をふきながら、咽び出したいロの中の言葉は、

「お父さま……」

あゝしてお亡くなりになつたお父さまを、心のかぎり呼びつゞけたいのだつた。小さい時から可愛がつてくださつたお父さま、女の子の自分……公子にとつて、かぎりなく嬉しいのは、やはりお父さまだつた。

「お父さま……」

幾度でも呼びつゞけたい、ほんたうのお父さまであるとしか思へない。かうして公子が、こんな所に、ひとりで立つてゐるのを、どこかゝら、あの慈みの深いお眼でジーツと見ていらつしやるやうな氣がする。そのお父さまの遺言の「馬と公子に家庭をもたせて」といふことを守るやうにと、お母さまが決めてしまつたのだ。けれども、公子は、どうすればいゝのだらう。まつたく新しい思ひがけない氣もちで、お兄さまを見なければならない。これこそ、もう「お兄さま」ではなく、まるで知りやうがなく、いよいよ貴重な白いろを薄めると、

「どうしたんだ、泣いとつたナ」

どうしたといふんだ」

グツと胸へ押し迫るやうにして訊くのを、いつもの隆と同じ調子だつた。

公子は、かすかに首ふつた。

「どうもしないわ……」

「どうもせずに、泣いとることがあるもんか」

隆は、さう云つた途端に、

あ、さうだ、と、初めて思ひ出した。おれは、露夫人から聞いたんだ。公子は竹内家で生れたのではなく、そのために、馬と結婚するのだ、と。すると、さうだ。おれは、この重大なことを、公子に話さずに來たんだ。が、待てよ。

い、ひとりの男性が同じ家にゐるのであるのを、公子は今、はつきりと氣にせずにはゐられない……。

「何してるるのか……」

誰か後から呼聲がした。

―聞いたやうな太い聲、と、うしろを振りむいてみると、

「……」

公子は、涙をふいてゐたハンケチを、おもはず握りしめて目を見はつた。いつのまに來てゐたのか、隆がのつそりと立ちながら、大きな眞顔な目をして、公子を見つめると、

「何だ、こんな所に來てたのか、今、おれは鶴公の家へ、行つて來たんだぞ」

すこしの隙でもない、いつものとほりの隆の氣もちで、さういふのを、公子は、まじくくと見ながら、この時は何か隆に、今までとほりには口のきけない氣がして、

「さう……」

と、だけ、唇の中でいつた。

隆は公子の敏感してゐる氣もち

第七十八回新學期開講
入會の絶好機來る
臨戰態勢下獨學リツパに中學卒業！
一ケ年半卒業で二箇年の講義録
正則中學講義錄
高等女學講義錄
實力で立派に高女卒業が出來る
大日本國民中學會　東京・代々木驛前

東洋女子齒科醫學專門學校
文部大臣指定　特典＝無試驗開業　入學＝出身女學校長推薦者は出願順に詮衡 東京市本郷區元町　校長宇田尚 本邦最初ノ指定校 詳細學則左記宛請求

戶板裁縫學校
○高等師範科（三ケ年）○家政科（一ケ年）洋裁專攻科（一ケ年）中等教員養成科（二ケ年）○豫科（二ケ年）研究科（制限ナシ）○夜學科（速成・隨意・洋裁）願書受付三月末日マデ 學則要三錢 東京市芝區三田四國町二 創立明治三十五年 校長戶板朝子

中野無線 中野高等無線電信學校
顧問 海軍大將山本英輔 校長 從三位勲四等男爵沖貞男 東京市中野區江古田 電話中野九七三〇・七〇五二・六八〇一 學則要三錢

實踐女子專門學校　實踐高等女學校　實踐第二高等女學校
△國文科 △英文科 △家政科 △技藝科 △各選科 △家政研究生 本校學則（郵券三錢）東京市澁谷區常磐松 校長 平尾爵子 創立明治三十六年

目黑 高等無線工學校
◆普通部（夜間）◆專門部（晝間）技術科・通信科 校長 海軍中將上田良武 所在地 東京市目黑區上目黑二丁目

日本女子齒科醫學專門學校
文部大臣指定 女學校長推薦者ハ出願順ニ銓衡ノ上優先入學ヲ許可 東京市大森區北千東町 學則ハ本校宛請求 學監 佐伯美津留 特典 無試驗開業ノ資格 ○募集人員百五十名 ○出願期日十二月一日より

第一無線高等工學校
學生募集 入學時局即應大學工學部系 海軍・遞信・鐵道・放送局・無線電話局等 東京市本郷區

二松學舍專門學校
生徒募集 入學試驗 第一回 三月一日、二日 第二回 三月二十五日、二十六日 東京市麴町區三番町六 校長 小牧昌業

東京齒科醫學專門學校
入學願書受付 第一回 一月十日ヨリ二月末日迄 第二回 二月五日ヨリ二月二十四日迄 東京市神田區三崎町

和洋女子專門學校
本科・別科・家政科・師範科・家庭科 詳細入學案內要郵券三錢 東京九段中坂上 校長 堀方弘毅

日本高等無線工學校
文部大臣認可 財團法人 本邦唯一 晝間 夜間 通信士・技術者養成 ○豫科一年 ○本科二年

電氣通信工學校
電氣通信技術者第二級（同等）無試驗檢定ノ途有 遞信省補助

興亞通信工學院
遞信省援助 遞信部内又ハ大陸雄飛ノ志望達成ノ好機

東京市芝區高輪臺町 財團法人電氣通信工學校經營

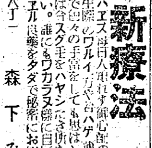
金華學園 訓導保姆養成所
佐々道彌 東京市澁谷區

第二十期決算公告 [illegible]
第拾七期決算公告 朝鮮都市經營株式會社 [illegible]
辰己物產株式會社 [illegible]
第六期決算公告 朝鮮製氷株式會社 [illegible]

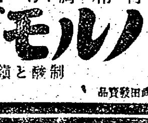
醫學博士小村榮三 內科兒科 コムラ病院 入院隨意 普通病室 隔離病室

皮膚・泌尿・性病科 鄭權陽醫院

有田音松製劑 肺病 ろくまく 胃腸病 中風 りん病 ばい毒 專門主治藥 有田ドラッグ 全國各地の



毛がハエヌ每日入浴れず御心配の方やマユゲが薄く生際のワルイ方やムハゲ無毛、無毛等で今まで色々の手當をしても思はしくないお困りの方は今スグ毛をハヤシたき所を書いて御手紙下さい。誰にもワカラヌ樣に自宅でフシギに毛がハエル良藥を夕ダで秘密にお知らせ申上ます



京日營業案內

寫眞機・材料 三洋堂
寫眞機と材料藥品
寫眞
寫眞機と材料販賣

雜件
ホテル
洋服
手袋
皮膚泌尿性病科 醫學博士金應允
犬の病院
用達 東光用達
洋服地、裏地
京日案內
雜件 レヂ
男子
仮雇
果樹
金融
電話
雇入
尋犬
下宿
倉庫
特別案內
女店員募集
京城製パン株式會社
女子事務員募集 寫眞工業

東寶若草劇場　二十八日より 長谷川一夫 男の花道
城寶　二十七日より 觀劇 アルプスの槍騎兵 二十九日 北京の嵐 三十日 鐵の愛情 大東亞戰爭戰況ニュース 唄ふ若人
松竹明治座　二十八日より 蘇州の夜 12,00 1,45 3,40 5,35 7,30 祭日・日曜日は午前九時開演 1日より5日まで九時開演
城南映畫劇場　二十六日より三十日まで 男魔間 妻り人 稻眞 變通 神
大陸劇場　二十六日より 大東亞戰爭戰況ニュース 文化映畫 白鳥の死 朝鮮樂劇團公演 花の大陸
浪花館　新興映畫 二十八日ヨリ上映 孤城の櫻 最後の七人 木曾路八宿

京劇　二十六日より三十一日まで 兵召天狗 鐵窓の鷹 水戶の小天狗 出世餅藤堂高虎
和信映畫館　二十五日より三十日まで 1・日本ニュース 2・朝鮮ニュース 3・東寶映畫 女學生記（七卷）
喜樂館　日活 二十四日ヨリ上映 文化映畫 魔像 大東亞戰爭戰況ニュース
東寶中央劇場　二十七日―二十八日 日本ニュース 文化映畫 蛇姬樣 大會
京日文化映畫劇場　廿五日より卅一日迄 1朝鮮ニュース 2帝國本土防衛第一線 3海の要塞線 4泰國に長政の遺跡を探ぐる 5漫畫 6護送船團 7大東亞戰爭ニュース 進む船團
朝日座　元旦ヨリ 正月特別興行 漫才萬歲大會

皇紀二千六百一年　昭和十六年十二月二十八日（日曜日）　京城日報（市內版）　明治卅九年九月八日第三種郵便物認可　第一萬一千五百七十二號　（二十七日發行）

夕刊　京城日報

兩院年內議事を終了

【東京電話】年內最終日の貴衆兩院は廿七日ともに本會議を開いて全院委員長ならびに各常任委員の選擧を行ひ一切の構成を整へたうへ陸海兩相より香港陷落を中心とする戰況報告を聽取し果敢なる皇軍の戰果に對して今更の如く感激を深くした、これに對して貴族院は香港攻城軍に對する感謝決意に代る感謝電を決議し、衆議院は前例通り戰歿英靈に對する敬弔ならびに皇軍將兵に對する感謝決議において擧國感謝の赤誠を披瀝した、またこの日兩院とも開院式に賜りたる優渥なる勅語に對する奉答文を可決し松平、田子兩院議長はうち揃つて宮中に參內、拜謁仰付けられ勅語奉答書を捧呈した、以上をもつて兩院とも年內議事を終り一月二十日まで休會に入ることとなつたが、政府提出法律案の決定を俟つて一月十五日ごろからともに調査會を開いてその事前審議を行ひ戰時下における協贊の任務遂行に邁進することになつてゐる

國民政府幹部在香同胞慰問

【南京廿六日同盟】國民政府では廿五日の中央政治會議の決定に基き今回九龍、香港などに重要幹部を特派同方面にある和平運動の同志および同胞を慰問激勵せしめることとなり廿六日主席より左の諸氏が指名された

中央政治委員會委員　陳璧君
宣傳部長　林柏生
行政院內政部長　陳群
糧食管理委員會委員長　陳濟成
政治委員　趙叔雍

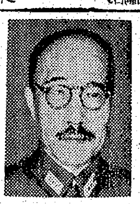
なほ一行は近く南京出發香港方面に向ふ筈である

戰果各方面に赫々

陸海兩相戰況報告

牙城香港遂に潰ゆ

敵機消耗四百廿七　東條陸相



【東京電話】二十七日貴衆兩院における東條陸相の戰況報告【寫眞＝陸相】

第七十八議會閉會後における戰況に關する概況は

一、マレーおよび泰方面　マレー半島方面における敵は密林地帶などの地形を利用して頑強に抵抗を試みつゝあるが、各部隊はこれを擊破しつゝ機動上の追擊を續けてをり、英領マレーにおいてはシンゴラ、コタバルに上陸せる部隊をもつて[illegible]侍する英軍を隨所に破碎してケダ州を略取し、その一部は十九日ペナンを占領、自動車一千輛、ガソリン五百罐、米五萬石、錫千三百トン、ゴム二千トンおよび原鑛一千トンなど莫大なる軍需品を鹵獲し、その主力はつひにペラク州に進入し廿三日世界一の錫產地タイピンを攻略した、東方コタバル附近においては頑強なる敵の抵抗を大破して逐次要地を攻略し十九日には優勢なる兵備の大部隊をもつて陸海に守備せるクアラクライの要衝を奪取に成功し、つゞいて南進中である

英ビルマ國境の南端附近においては、[illegible]して來れる英軍を擊破し十四日クラ地峽を橫斷同[illegible]に達しヴイクトリヤポイントを占領した、マレー方面の陸軍航空部隊は開戰以來の惡天候を冒し[illegible]二十二日までに陸軍のみにて擊破せる敵飛行機の數は二百廿一機を數へその後も急速に增加しつゝあり陸海航空作戰の偉大なる戰果は敵に大なる動搖を與へ、その戰意を著しく喪失せしめつゝある、なほわが陸軍航空部隊は去る廿三日よりビルマ首都ラングーン附近を空襲し敵空軍、軍事施設および敵增援部隊などの擊碎につとめつゝある

二、比島方面　ルソン島では北部は十日アパリおよびビガン附近へ南部は十二日レガスピーへそれぞれ上陸を決行せる先遣部隊は各々當面の敵を驅逐し敵航空基地を確保するとともに專ら次期作戰の準備を整へ、その兵力の增強に伴ひ航空部隊の緊密なる協同の下に[illegible]さらに廿二日にいたり大部隊をもつてルソン島西海岸リンガエン灣に廿四日同島東海岸ラモン灣に上陸しいよいよ攻擊は本格的となつて來た、敵が賴りとせる敵航空兵力もわが陸海航空部隊の間斷なき攻擊によりほとんど潰滅に瀕し飛行場ならびに附屬設備の重要なるものはすべて大破した

越えて二十日に至り新部隊をもつてミンダナオ島の首府ダヴアオ附近に上陸作戰を敢行所在の敵を驅逐してダヴアオ市を占領し約一萬八千名の在留同胞を救助した、しかしながらこの二十三日までに判明せる死亡者の數は米軍により虐殺せられたるもの十名、射殺卅八名、收容の際自動車事故による死亡二名計五十名で眞に遺憾に堪へぬ、この慘虐行爲は天人倶に許すべからざるところで軍としてはかかる暴虐を敢てせし敵兵に對し適正なる手段を講じつゝある

三、ボルネオ方面　去る十六日未明英領北ボルネオに上陸せる部隊は爾來ますます戰果を擴張するとゝもに破壞を蒙りたる各種事業および施設の復興に力を注いでをる、現地部隊からの報告によれば敵は約三ケ月以前より石油施設要部の破壞、機械の撤收などを行ひ九日より油田施設に放火した模樣であるが油井百五十中約一ヶ月の作業により採油し得るもの約七十、日產約七百トンと認められ、もし修理が希望通り進捗すれば來年度五十萬トンの採油も可能とのことである

四、グアム島　グアム島は占領後僅か二旬に過ぎぬが治安は眞に良好で住民は皇軍を信賴してよくその堵に安じてゐる

五、香港攻略　九龍半島戡定後二回にわたり開城を勸告したが敵はこれを拒絕したのでわが軍は直ちに香港島に總攻擊を開始し十八日夜半に乘じ敵の機雷原を冒してその東北角に對する決死的上陸を行ひ引つゞいて東部の要衝たるジアデイネス（渣甸山）を占領し二十日午後には早くも東半部をわが掌中に收めた、爾來敵は峻嶮なる岩山つゞきのビクトリヤ、ピーク、奇力山、歌賦山および西高山をめぐる堅固なる要塞線により頑強なる抵抗をなし殘存英艦艇は時にわが左側背に砲擊を加へるのみならずわが展開も地形上大なる拘束を受けるなど諸種の困難に遭遇したが攻擊部隊はいさゝかも屈することなく猛攻をつゞけ廿二日には金馬倫山の前進陣地を奪取し爾後敵要塞の要部に對し猛烈なる砲擊を集中しつゝ逐次各據點を奪取し全く敵の複郭陣地を孤立せしめかくて敵は間斷なきわが集中火の威力と果敢なる肉薄攻擊の迫力とにより遂にその抵抗を斷念し廿五日午後七時五十分に至り遂に降伏を申出でた、當夜も熾烈なる砲擊をもつて一擧敵の要塞を屠らんとしてをつたわが軍もその無條件降伏を許容し同日午後九時卅分停戰を命じた、かくて阿片戰爭以來の英國の牙城今次事變間の援蔣の基地香港は脆くも潰え九龍半島とゝもに全部悉くわが手中に歸した

六、滿支方面　滿ソ國境の守りは磐石の如く微動だもせず滿洲國の治安もまた良好である、支那においては重慶側が米英に策應して蠢動する兆候を認めたのでその機先を制して山西、河北、山東各省および浙東地區に攻勢をとりこれを封殺しまた香港の背後方面へ大集團を進めてわが香港攻略を牽制せんとする重慶側の企圖は廣州方面より南に向ふわが攻勢に脅威せられて瓦解に歸した

今回の南方作戰の戰果に關し確實に判明してゐる十二月二十三日までの分は陸軍のみにて敵飛行機四百廿七機を消耗せしめ敵の砲艦汽船其他舟艇六十隻を擊沈又は大破し七十四隻を捕獲し敵自動車一千七百五十八輛、戰車輕裝甲車五十八輛、敵火砲百八門、重機四千百五十七挺をはじめ揮發油、油脂類、ゴムその他軍需資材多量をわが手に收めた、大東亞戰爭は未だ緒戰の域に過ぎず本格的作戰はこれからで將兵一同は緒戰の勝利に驕ることなくいよいよ隱忍しますます[illegible]征戰目的の完遂に邁進せんことを誓つてゐる

重ねて勅語

兩院議長、奉答書捧呈

【東京電話】松平、田子貴衆兩院議長は二十七日午前十時四十分宮中に參內、同十一時御座所において天皇陛下に拜謁仰付けられ二十六日の開院式に賜りたる勅語に對する貴衆兩院の奉答書を捧呈したるに對して天皇陛下には重ねて優渥なる勅語を賜り兩院議長は恐懼感激御前を退下、兩院にこれを報告した

勅語

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

貴院勅語奉答文

【東京電話】開院式に賜はりたる勅語に對する貴族院の奉答文左の如し

勅語奉答文

貴族院議長臣松平賴壽誠恐誠惶謹テ
叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス
茲ニ第七十九回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ恭シク惟ルニ外征ノ皇師ハ每戰捷ヲ奏シ大ニ威武ヲ中外ニ宣揚セリ是レ一ニ陛下ノ稜威ノ致ス所ニシテ臣民ノ齊シク感激措ク能ハサル所ナリ臣等謹テ叡旨ヲ奉體シ[illegible]以テ聖謨ヲ翼贊セムコトヲ期ス臣[illegible]ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

ラングーン大空襲＝【上】市上空で爆彈の雨を降らす荒鷲編隊【下】ガソリンタンク、石油倉庫、軍事施設完碎の刹那（現地―台北間空輸、台北―東京間無線電送）

戰艦擊沈十一隻

敵機の損害八百三　嶋田海相

【東京電話】廿七日の貴衆兩院本會議における嶋田海相の戰況報告內容左の如し【寫眞＝嶋田海相】

前議會後の海軍作戰の狀況につき大要說明する、開戰初頭米英兩國の太平洋艦隊を一擧に擊沈し、かつ西太平洋における敵航空兵力の大半を擊破したことはたゞに西太平洋の制海權ならびに制空權をわが手に收めたばかりでなく、敵國全般の士氣を著しく沮喪せしめ、その結果開戰後の作戰はすこぶる順調に進展し、各方面にわたり戰果を迅速に擴大しつゝあり、ハワイ方面の作戰では十二月十七日ハワイ攻擊部隊指揮官よりの正式報告を受領したが、その戰果は去る十八日發表したる通りである、わが海軍は引續きこの戰果の擴大に努め、ハワイ方面と西南太平洋とを結ぶ戰略上の要點たるジョンストン、パルミラ、ベーカー、ウエーキなどの諸島に對し艦艇もしくは航空機をもつて果敢なる攻擊を加へ

飛行場および陸上諸施設などをほとんど潰滅せしめたのであるが、ウエーキ島に對しては十二月二十三日午前風濤を冒して陸戰隊の強行上陸を決行、遂にこれを完全に占領した、本作戰は全島至る所に堅壘とも稱すべき防備を施した島を海上より強襲しこれを奪取したものであつて戰鬪の規模は大きくはないが、非常な激戰を繰返し、わが方においても相當の犠牲を生じたことは當時發表した通りであり、この戰鬪に關する艦隊司令長官報告の中にもわが攻略部隊陸戰隊の勇戰は眞に鬼神を哭かしむるものありとの一節があつた、敵の損害は砲臺莫大で多數死傷者のほかに約一千六百名を捕虜とした、これらの作戰によりアメリカ本國より太平洋諸島を經て東亞方面に通ずる

敵航空路の大動脈は遮斷されたのみならず、今後これら島嶼戰略上の要地はわが方の手に歸したのである、比島方面においては十二月二十日未明陸軍部隊の緊密なる協同のもとに陸軍部隊のミンダナオ島上陸に成功し同日午後には早くもダヴアオを完全に占領し、續いて廿二日および廿四日にはさらに有力なる陸軍部隊を擁護してルソン島の新なる重要地點二ケ所に逐次上陸作戰を決行し、比島の戰局は陸軍部隊の勇戰奮鬪により大なる進展を示しつゝあり、この間海上部隊は輸送船團を護送するとともに附近海面における敵を制壓し、また海軍航空部隊は敵兵力および重要地點の攻擊に當り、特に敵の殘存航空兵力および飛行場その他軍事施設の擊滅に努め、今や制空權はほとんど全くわが方に歸した

この方面において海軍部隊の擊破した敵の航空兵力は開戰以來擊墜擊破機數を累計して二百廿八機に達し、これを陸軍側の戰果と合せるとほとんど全滅であつて現在はきはめて少數の敵飛行機が南方に分散潛在してゐるに過ぎない、マレー方面の作戰もまた急速度に進展してゐる、わが海上部隊および航空部隊は陸軍の大輸送船團の護衛と廣大なる海面の制壓とに任じ、さらに航空部隊はシンガポール方面その他敵の要地に對し不斷の攻擊を加へ兩々相俟つて作戰を進展せしめつゝあり

英領ボルネオ方面においては十二月十六日未明に陸軍と協力して敵前上陸に成功し以來陸海軍協力して戰果を擴大しつゝあり、次に香港作戰においては海軍は

陸軍部隊の神速果敢なる攻略に協力し航空機および艦艇をもつて敵の陸上兵力および艦艇に攻擊を加へるとともに敵砲艦、驅逐艦など九隻を擊破せしめ陸軍側の戰果と合せてこの方面の敵海上兵力を全滅せしめた

大要以上の通りで、開戰以來今日までに判明したる戰果は米英兩國を合せ累計すると戰艦においては擊沈七隻、大破三隻、中破一隻合計十一隻となり巡洋艦は擊沈二隻、大破二隻、中破四隻合せて八隻、驅逐艦において擊沈一隻、大破四隻計五隻、潛水艦において擊沈確實なるもの九隻その攻擊せるも擊沈せるや否や明瞭ならざるもの多數である

その他砲艦、掃海艇など六隻および商船八隻以上を擊沈し、他に砲艦一隻、特務艦一隻を鹵獲し、右のほか商船十六隻を擊沈、大破し、なほ五十隻約十三萬トンおよび小形船四百七隻を拿捕してゐる、航空機においては擊墜擊破したるもの合せて八百三機でその他機數不明であるが地上擊破のもの多數あり、これに對してわが方の損害は飛行機において總計五十二、艦艇の沈沒したもの驅逐艦二隻、掃海艇一隻、驅潛艇一隻、輕微なる損害をうけたるもの驅逐艦一隻、いまだ歸還せぬ特殊潛航艇五隻あるが右以外に沈沒または損害をうけた艦艇は一隻もない

以上の如く作戰全局の推移はきはめて有利に進展し、開戰後二旬に充たずして顯著なる戰果を擧げ、多年錬成された實力を隨所に發揮しこゝに**太平**洋の戰略態勢を敵國に有利になし得たのであつて、まことに御同慶に堪へぬところである、しかし戰局の前途は遼遠であり、今後幾多の困難に遭遇いたすべきことは充分覺悟を要するところであるので、海軍將兵一同は常に有難き御稜威に感激し、不撓不屈の勇猛心をもつてますます奮勵努力、作戰終局の目的を達成せんことを固く期してをる

第一線陣地を突破

我進擊阻止に英躍起　マレー戰線

【マレー國境廿六日同盟】當地で入手したシンガポール放送によれば、わが軍のマレー進攻はいよいよ進捗しつゝあり、東西兩岸の部隊は相呼應し南下、奇襲戰法を用ゐて〇〇河岸の線に進出したが、英マレー防衞軍は國境地帶の第一線防禦陣地の脆弱を挽回すべく新鋭部隊を前線へ增強中、なほ主力はシンガポール防衞につきあくまでシンガポールの堅固さを強調してゐるが、第一線陣地突破が英軍に決定的な打擊を與へたものゝ如く第一線陣地以後シンガポールまでの無防備ぶりを徒らに暴露してゐる

英海軍工廠を占領

【香港廿七日同盟】廿六日の未明陸軍部隊の香港市內進駐と密接な連絡の下に海軍陸戰隊は香港島に進駐し二十六日午前八時半英海軍工廠を占領した

空威張どこへやら

ペナンを逃出した英人

【マレー〇〇にて廿六日同盟】わが〇〇部隊はさる十九日ペナン島の無血占領に成功、すでに同島の治安は完全に回復し島民は續々と復歸しつゝあるが、同島在住の英人約六百名は皇軍が〇〇ラインを突破すると聞くや色を失つて一齊にシンガポール引揚げを開始したため、同島に抑留されてゐた邦人約五十名は島の一部を占據、皇軍の上陸を待たずして同島は陷落した實情である、市民の話によれば英人などは引揚げに當つて昨日までの威嚴はどこへやらすべての貯藏物資を放り出したまゝ市民の眼を怖れるやうに倉皇として姿を消したさうだ、したがつてペナン製煉所ペターオースの錫鑛爐、放送局など重要施設はほとんど破壞されず、錫、ゴム、米は大量に置きざりにされてあり、約三千台の自動車がそのまゝに動くといふ有樣で、かつて抗日宣傳放送に大童だつた同島放送局は早速二十二日より大東亞建設のために電波を送り出すといふ早變りを演じた

懲りぬ敗戰會議

英米蔣密議を凝らす

【リスボン廿六日同盟】重慶來電によれば英印度軍司令官ウエーベル米陸軍航空本部長ジョージ・ブレット兩名はさる二十二日ラングーン經由重慶に飛來し、廿三、四兩日にわたり蔣軍事使節米代將マグルーダーを交へて蔣介石と會談共同作戰につき協議を行つた、右に關し重慶政權は二十六日左のコムミユニケを公表した

ウエーベル英印度軍司令官およびブレット米陸軍航空本部長はさる十二月廿二日ラングーンより重慶に到着同夜直に蔣軍事委員長と會見、民主々義諸國の共同戰爭諸問題につき協議を遂げたその結果二十三日重慶に英米支三國軍事會議を開き二日間協議を重ねたのち廿四日ウエーベル、ブレット兩將軍はラングーン經由歸任した

大型貨物四隻擊沈

ドイツ軍戰果

【ベルリン廿六日同盟】ドイツ軍司令部發表

一、ドネツ河の戰線部一帶においてソ聯軍は攻擊に出て來たが、ドイツ軍はこれに大損害を與へ擊退した

一、東部戰線中央部ではいまなほ激戰繼續中で、ドイツ軍は多數のソ聯機甲部隊を殲滅した

一、ドイツ空軍部隊は中部ならびにレニングラードの兩戰線でソ聯軍の陣地、鐵道施設などを爆擊し、さらにムルマンスク鐵道の軍需物資輸送列車に命中彈を浴びせた

一、二十五日夜イギリス海岸沖でドイツ空軍は三千トン級貨物船を擊沈大型貨物船四隻に大損害を與へた

一、ドイツ、イタリー軍は豫定の計畫にもとづきベンガヂを撤棄、從つてイギリス軍は戰鬪せずに同地を占領したものである

紅唇を衝く決意

臨報團婦人決戰大會

銃後半島の女性陣が米英膺懲に火の手をあげて第一聲の朝鮮臨戰報國團決戰婦人大會は廿七日午後二時から京城府民館で開かれた、集るものは半島最高の婦人指導階級を網羅した臨戰報國團婦人部全員それに京城府內の中等學校以上卒業者愛國班員など知識層婦人ばかりで二千名臨い會場は紅唇の感激と興奮に愛國の至誠でむせるやう、大會は梨專校長大城活蘭さんの司會で開會、宮城遙拜、默禱を捧げてのち佳山團長が挨拶をのべ川岸總力聯盟事務局總長、烏飼軍參謀長がそれぞれ銃後の固き護りを激勵する祝辭を述べる、次いで議案に入り戰時下生活刷新運動の推進として日常生活を國家總力線に沿うて一大刷新、消費節約、貯蓄勵行、防空訓練、資源回收、生產擴充、勤勞奉仕の發揮、志願兵の感謝、次代國民の皇道教育などを率先實踐して皇國の女性として義務を完遂することに決議、更に軍需資材獻納運動に半島の女性總ても協力して家庭或は愛國班、各所屬團體を通じて金ある者は金、穀物ある者は穀物を擧げて供出、聖戰完遂に總てを捧げるよう半島五百萬家庭に不撓の努力を傾注して士氣を振作することに滿場一致で可決した、かくて黑木海軍大佐は萬雷の拍手に迎へられて登壇、無敵海軍の燦々たる戰果と底知れぬ海軍の力を說明して降壇、次いで皇國臣民の誓詞を一同力強く齊誦して聖壽萬歲を奉唱して閉會、直ちに一同は朝鮮神宮に參拜して銃後女性の誓ひを神前に奉告した

貴族院本會議

全院委員長に德川公

【東京電話】年內最終日の貴族院本會議は廿七日午前十時五分開會劈頭松平議長より開院式に賜はりたる勅語に對する奉答文案を朗讀し、總員起立裡に可決、議長は右奉答書捧呈のため參內、佐々木副議長代つて議長席につき全院委員長及び常任委員の選擧に入る、選擧の結果全院委員長に德川圀順公（火曜會）當選、同じく四十四分常任委員選擧のため一旦休憩

午前十一時三十八分再開、松平議長より

午前十一時參內　天皇陛下に勅語奉答書を捧呈したところ重ねて優渥なる勅語を賜つた

旨を報告、全員起立裡に勅語を奉讀したるのち各常任委員の氏名を報告、次で陸海軍大臣の戰況報告に入る、八條隆正子（研究）議席から發言を求め

現地陸海軍最高指揮官に對し感謝電報を發したい

と動議を提出して全會一致これを可決、松平議長の名をもつて打電することに決定、次で松平議長より

政府の提出議案準備の都合上明年一月二十日まで休會するが、その間必要あれば何時でも開會する

旨を述べて自然休會に入り午後零時散會

衆議院本會議

【東京電話】衆議院本會議は午前十一時五十分開會

田子議長　本日午前十一時宮中に參內、拜謁仰付けられ勅語奉答書を捧呈したところ　天皇陛下には重ねて優渥なる勅語を賜つた

旨を報告、總員起立裡に恭しく勅語を奉讀しついで日程に入り全院委員長の選擧を行ひ投票の結果二百二十一票武田德三郎、二票本田彌市郎、一票松方幸次郎、かくて武田德三郎氏當選ついで各部において常任委員の選擧を行ふため午後零時十二分休憩、午後零時四十五分再開書記官より常任委員選擧の結果を報告し各委員長理事の互選を行ふため同五十二分再び休憩

＝人＝

◇雛山保治氏（西鮮合同電務）廿六日入城天眞樓
◇夏目十郎兵衞氏（咸北道議）廿六日入城備前屋へ
◇名倉重孝氏（慶南陸運常務）廿六日入城[illegible]
◇辻仙二氏（東京[illegible]）廿六日入城同上

時の録音

比島政府遂に逃亡とケソン君が悲鳴をあげる。

×

海の中を何處に逃げるか。移轉先から政務を掌理するとは笑はせやがる。

×

米國の手先に踊らされて遂に國土を失ふ。これでもまだ眼がさめぬとは救ひ難し。

×

歲末愈よ押詰る。問題は、國債購入は、これでよいのか反省してみよう。

×

ギリギリ一杯、合理をしてでも貯蓄へ、國債へ。

×

數日來の本町通の雜沓、こゝに無駄あり虛榮ありと知れ。

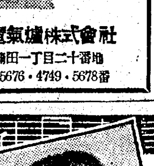
×

銃後の奉公は行動だ。實踐だ。

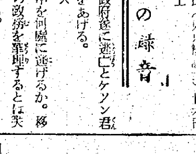
今は戰時だ　押し切れ　三越の國債賣場　新設　一階東詰　京城　廿九日は休みません

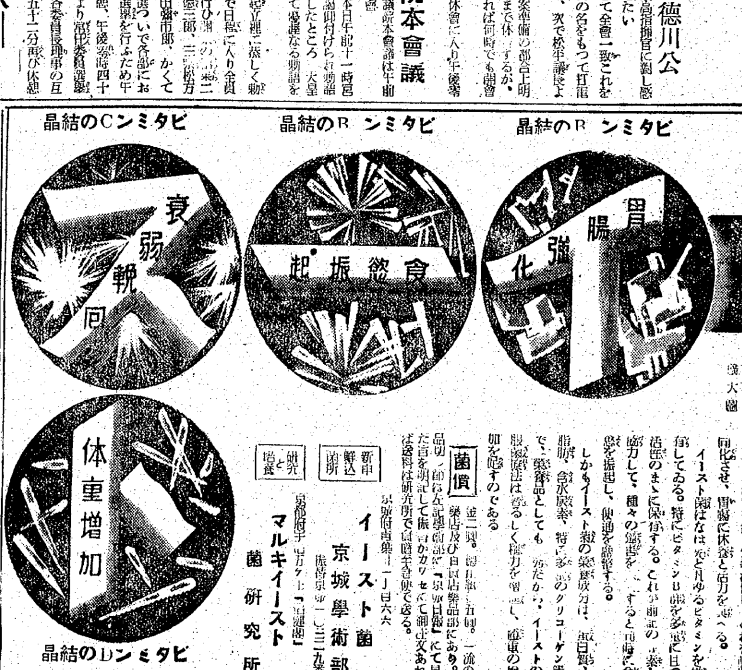
高周波電氣爐
用途
新合金研究ト製造
諸特殊鋼製造鑄入
白金イリヂーム等高熱金屬ノ熔解
高級光學用ガラス製造等々

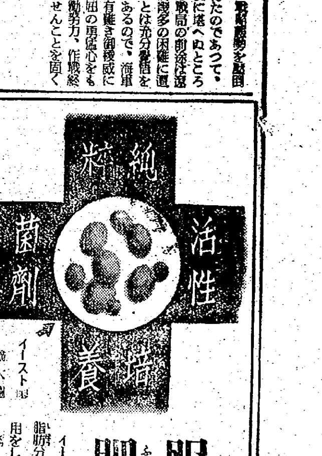
東京高周波電氣爐株式會社
東京市蒲田區本蒲田一丁目二十番地
電話蒲田 2339・5676・4749・5678番

城寶
31日ヨリ
豪華歌謠ショウ
デイック・ミネ改め
三根耕一
（祝香港陷落）


ベティ稻田
小笠原美都子
山本俊二と彼の樂團
裝置　高垣昇
照明　佐藤五郎
明廿八日　アルプス槍騎兵
阪東妻三郎の　江戶最後の日
同時封切
京城寶塚劇場


大毎　東日　募集
大東亞決戰の歌
作曲　海軍軍樂隊
陸軍省　海軍省　文部省　防衞總司令部　情報局　推薦
軍事保護院　大政翼贊會　日本放送協會　後援
波岡惣一郎・中村淑子
柴田睦陸・大谷冽子
愈々發賣！
ビクター





服菌で肥る理
イースト菌は強力なる蛋白消化酵素および脂肪分解酵素を含有してゐるので、胃腸の代用をして滋食を悉く分解消化し、これを吸收同化させ、胃腸に休養と活力を與へる。
イースト菌はなほ凡ゆるビタミンを保有してゐる。特にビタミンB群を多量に且つ活性のまゝに保有する。これが前記の酵素と協力して、種々の障害を除去すると同時に食慾を振起し、便通を調整する。
しかもイースト菌の榮養成分は、蛋白質、脂肪、含水炭素、特に多量のグリコーゲン等で、榮養品としても秀れたもの。イーストの服用療法は著るしく體力を回復し、體重の增加を起すのである
菌價　並一圓。[illegible]五圓。一流の藥店及び百貨店藥品部にあり。品切の節は左記學術部に「京城日報」にて見た旨を明記して振替かカワセにて御注文あれば送料は研究所で負擔で送る。
京城府[illegible]一丁目六六　イースト菌京城學術部
新菌製造　解込菌所　研究と培養
[illegible]　マルキイースト菌研究所

經濟手帖

捕獲審檢所

◇…大東亞戰爭わが無敵海軍の活躍は物凄く米國太平洋艦隊を潰滅し、英國東洋艦隊主力を撃沈したほか、敵の海上輸送力に與へた打撃も著しいものがあり、開戰第一日だけで拿捕抑留した敵國船は二百餘隻、八萬トンに上つた位だ、その後拿捕船舶數は益々多くなり、十二月廿二日現在で四百廿四隻以上に達してゐる

◇…ではこれらの敵性船舶は如何に處分されるか、これを處理するのが去る九日の閣議で開設に決定した捕獲審檢所で戰時國際法に基き明治廿七年に勅令で發布された捕獲審檢令により開設されるのである、この制度は各國共にあり、わが國でも日清、日露の兩役時に第一次歐洲大戰當時開かれたことがある

◇…捕獲審檢所の役務は海軍によつて拿捕された敵船及び積荷につき戰時國際法規に照し之を捕獲すべきか解放すべきかを檢定し又不法の拿捕によつて損害を受けたと稱するものから提出の訴願があつた場合これに對する檢定も行ふのである、而して右の捕獲される敵船及び積荷とは船舶、貨物は勿論のこと中立國に屬するものでも敵に屬するものはこれを含むので

◇…今回開設に決したのは東京の高等捕獲審檢所、横須賀及び佐世保の兩捕獲審檢所の三ケ所であり、又捕獲審檢所が國際的な關係が深いため今度の開設に當りその權威を重からしめる意味で捕獲審檢令が改正され、高等捕獲審檢所評定官中に海軍法務局長等に學識經驗あるもの一名が加へられることゝなつた

鮮銀券發行 最高記錄を示現
七億四千萬圓臺を突破

年末金融繁忙期に入るとゝもに鮮銀券の發行は極めて順調な增勢を示しつゝあつたが廿七日へ繰越された發行高は前日の廿四日に比し一千二百八十八萬二千四百八十圓を增加して、七億四千七百六十二萬二千五百十六圓を示現、つひに七億四千萬圓臺を突破、鮮銀創業以來の最高記錄を樹立した、鮮銀當局としては今春四月發行最高額六億二千萬圓が決定されてをり、最近の金融情勢から早くも年末頃七億四千萬圓臺の出現は豫想したところで金融統制上限外發行は別段考慮の必要もないとされてをり、おそらく二十六日の發行高は最高記錄と見られ、二十七日以降は收縮に轉ずるものと豫想されてゐる

なほ去る十日制限超過發行を行つて以來今日までの制限超過發行高は一億一千七百六十二萬二千五百十六圓である

殖銀の公共產業貸付高增加

十一月末現在殖銀の公共產業資金貸出高は前日口數五萬八千七百三十二、金額五億五百六十一萬二千百七十四圓で、これを前月末現在高と比すれば口數三百五十、金額五百八十八萬七千三百九十四圓のそれぞれ增加を示してゐる、なほこれを用途別に見れば農業の三萬餘口、五千七百八十一萬餘圓を筆頭に鑛業、土地家屋、貸付整理、水利事業などの順となつてゐる

水原商議設立認可

殖產局では水原商工會議所設立を認可する旨廿七日告示した、右により全鮮の商工會議所數は十八となつた

經濟會議所令 明年早々實施か

時局の進展に伴ひ諸物資統制強化は必至とされるので殖產局では內地に順應し、鮮內商工經濟機能の機能を最大限に活用しもつて戰時統制經濟の運營に萬全を期するため現行朝鮮商工會議所令を廢止し新に決戰體制下に即應した公益優先職域奉公、衆議統裁制による強力な經濟會議所令を制定公布することとなり目下準備を進めてゐる、右は具體案作成のうへは中央當局と折衝を行つたうへ早急實施に移す方針であるが大體十七年度早々實施されるものとみられる、なほ右經濟會議所令の實施される曉は現行の商工會議所は發展的解消を遂げるはず

有價證券業取締規則制定

鮮內における有價證券賣買取引の安全と流通圓滑化をはかるため、殖產局ではこれら有價證券業者の監督取締の一段強化を目的とする朝鮮有價證券業取締規則を制定することゝなり、かねて準備を進めてゐたが、具體的成案を得たので目下法制室へ回附中であり、早急實施されるものとみられてゐる

火藥工業組合 共同購入實施

さきに設立を見た朝鮮火藥工業組合ではこの程理事會の決定により火藥取扱業者用のグリセリン、水銀、雷汞類、酸類、硝酸、綿糸、ソーダ灰、苛性ソーダ、鉛、硝安、硫酸など十一種を統制共同購入することになり、今後これら品目の購入および配給はすべて當組合を經由することになつてゐる

東拓朝鮮支社に 開拓課を新設
初代課長に小野寺氏

東拓では明年度より總督府北鮮高地帶開放豫定地計一萬町步に對し十ケ年計畫で大規模の移民事業に着手することになつたが、これにともない右開拓事業を積極的に推進せしむるため、職制の一部を改正して新たに朝鮮支社に開拓課を新設することになり、廿六日附で前慶北農務課長小野寺二郎氏が初代開拓課長に任命發令された、なほ東拓では近く北鮮開拓事業のみを同社の直營事業から切離して別會社北鮮開拓株式會社（假稱）を設立する方針で準備を進めてゐる

東拓異動（廿六日附）

東拓では朝鮮支社の開拓課新設に伴ふ人事異動を廿六日附で左の如く發令した

朝鮮支社農業課長 關島重剛
命平壤支店長

任參事、命朝鮮支社農業課長 庄田信次郎

任技師、命朝鮮支社開拓課長 小野寺二郎

內鮮關間船舶檢查 事務囑託取決成立

船舶の運航が問題化してゐる際に總督府はすでに成立實施中の船舶檢查事務の相互委託を內鮮からさらに關東州にまで擴張すべく關東州海務局との間に折衝中のところ、相互に檢査事務を委託する取決めが成立した、本協定により相互の船舶檢查は餘程合理化され圓滑な遂行が期せられる

朝鮮信託八分据置

朝鮮信託では廿七日午前十一時より同社會議室に第十八回定時株主總會を開催、營期利益金處分案（配當年八分据置）ならびに取締役讀井源輔、山本爲善、張元俊相、櫻井金吾の六氏および監查役金子源金氏任期滿了につき改選の件を附議可決したが、取締役、監查役は全員再選重任、代表取締役には讀井源輔氏が選任された、利益金處分左の通り（單位十圓）

◇當期純益金二〇九〇◇前期繰越金一八〇◇合計四八九（この處分）法定準備金四五▲別途積立八〇▲退職給與基金四〇▲役員賞與一八▲配當（年八分）一〇〇▲後期繰越金二〇六

紐育株式新安値
チ英首相敗戰自認

【アヂスアベバ（？）廿六日同盟】廿六日のニューヨーク株式は多數花形、投資株の軟調が目立ち電信株は大統領の通信機關統制案を嫌氣して安値、著しく、過去三年來の新安値に打ち込んだ、尤もその他の株は區々ワシントンにおけるチャーチル英首相の演說不利の報に相殺されてゐた

けふの市況

株式 正義必勝 穩健裡に大納會

前場　輝く大戰果を現實にみて賣氣再び留まり新東百四十六圓十錢と一圓十錢高、大新八十一圓八十錢、鐘紡百六十五圓十錢、新高周波五十一圓九十錢と一圓三十錢高、高周にそれぞれ寄付きあと新東は四十七圓臺へ驅け、新鐘百十圓臺を突破、高周波五十三圓臺を上廻つて賣氣は侮り難いものがあり、諸株とも穩健裡に大納會を告げた

ここを買つても間違ひなし

香港が現實に攻略されたことはその價値が實價的には失ひ乍らも最後の一縷の望を繫いでゐた一切の關係に最後の斷を下すもので、その意義ならびに大東亞戰爭の戰國團ち米、英、蘭等の諸國に與へる效果は著大である、これを要約すると重慶政權の英援補給線の最大なるものが閉塞する一方、香港はわが必戰權不能軸の爲にかくれ米英が重慶に榮養を補給してゐた一大脊線であつた、殊に重慶は天津、上海、香港の三港を失つて後は腿股的、密貿的ヌケ荷を吸收し得るに過ぎないこととなつた、また支那大陸におけるユダヤの唯一の安全地帶が潰滅した、香港はイギリスが支那大陸に魔手を揮つた最初の據點であり、しかして今やこれが最後の根據地であつた、事變では手のつけ得なかつた彼等合擁の唯一の安全地帶であつたが、今や完全に潰滅した、直言すれば東亞明朗化の第一步が巨きく踏み出されたわけだ、これを反映したわが株式市場が亦明朗化せざるを得ない、政府の方針に順應して市場の自體強化策によつて材料一ばい買ひ切れない憾みはあるが、どこを買つて出ても間違ひなしの相場

彈照明

皇軍の戰果は眞に讚嘆すべきものがある▲これこそはわが軍が練りに練つた搏相違大にして反樞軸陣營の夢想だもし得なかつた一大作戰だ▲現實的に驚異的戰果發表をみせつけられては買はざるを得まい▲ただ有頂天に踊つては國家の實力ともいふべき最高價格令の發動があり市場としても證據金の大幅引上げで買方は金縛りになつてゐるため材料ほどには買ひ切れない振合ひがある▲從來ならば五圓十圓と夜放れするところだ▲しかしそれがないところに相場の圓健味と堅實さがあるわけだ▲すこしも行過ぎた懸念がなくむしろ買餘地が多分に殘されてゐる▲おそらく相場系の切れた地子のやうに上るであらう▲種々苦惱から解脫した昭和十六年を送るとともに前途の榮光あらんことを祈る▲これを以つて大納會の辭とする

實物 鞋り

滯貨物色買ひはなほ發き諸株とも大體堅り步調を示した、地株では高周波が再活躍し、五十三圓臺に騰げたのが特に注目を惹きその他は各銘柄とも一圓內外高を示した人氣はあくまで堅健そのもので買氣はなほ持續樣であつた、主なる出來値左の如し（單位十錢）

高周波五三、五一—六一—三一—二三—四一五一—六一—三一—四五一—六▲南滿新一七、五▲朝銀新五八二▲朝鮮石油新二一、六▲朝鮮機械四六、五▲京紡八二、〇▲朝鮮無煙炭五四、五

生糸 來春高

【橫濱電話】前場限り大納會市場は內地株式の强調と春高期待の人氣濃厚で當物の限月は期當によつて辛うじて制限値段をつけ、もしくは當限によつて制限値段をつける有樣で先限もつひに十五圓八十九錢と一錢高で制限値段を示現するに至つた

債券市況
新券賣切れ

十二月發行の新債券は賞與其他の需要高進し、宛も大東亞戰爭勃發時の事とて物凄い賣行振りであつた、月央には全斷賣切れとなり二十日頃には日本全土たゞの一通も剩さず賣切れて了つた、一方旣發債券の相場は殆んど强味保合を持續しつつ賣行は月末押迫るにつれて益々良好である

◇割引債券（廿圓券）（單位錢）			
二回一六九	三回一六〇七	四回一五七	
五回一四八	六回一四四	七回一三六	
八回一三三	九回一二三	十回一二三	
十一回一〇三	十二回一〇三	十三回九八	
十四回九二	十五回九八	十六回九八	
十七回九八	十八回九二	十九回九一	
◇復興債券（十圓券）			
一回二〇一	二回二〇四	三回一九二	
四回一九九	八回一八〇	九回一八六	
十回一八六	十一回一七五		
◇復興債券（五圓券）			
五回九六	六回九四	七回九六	
八回九二	九回九八	十回九七	
◇勸業債券（十圓券）			
六回一〇四	六回一〇三	七回一〇〇	
八回一〇一	五回一〇三	十五回一〇三	
十五回一〇三			
◇貯蓄債券			
三回一〇〇	三四回一〇〇		

東京國債實物（單位錢）（日本勸業債券京城支店調）

甲號五分一〇五・六五　一三三年物九八・七〇
一回四分一〇二・七〇　二七年物九八・四〇
二回四分一〇二・六〇　佛貨四分九七・〇〇
十九年物 —— 米貨五分 ——

工事入札メモ

◇咸鏡南道一、洪原西大川芳德里外一ケ里堤防災害復舊工事一、洪原南大川堤防災害復舊工事一、利原東大川東後里中湖里堤內堤防災害復舊工事一、城川江上朝陽面堤內堤防災害復舊工事一、東洛川左岸月汀里堤內堤防災害復舊工事一、北青南大川田里面里堤內堤防災害復舊工事一、北青南大川左岸無量堤內堤防災害復舊工事一、城川江右岸堤防災害復舊工事一、城川江右子陽付近堤防災害復舊工事（右九件近日中入札、但し指名者は發表せず）一、北青南大川左岸南興里地內堤防災害復舊工事（指名昭和工業、眞宗工業、佛崎定一）一、端川赤田右岸洪里堤防災害復舊工事（指名八木宗十郎、大橋組、鶴田喜吉）一、漢水右岸星羅里附近災害復舊工事（指名八木宗十郎、大橋組、梅田市治郎）一、安邊南大川浪城里附近堤防災害復舊工事（指名近森組、八木宗十郎、大橋組、右四件近々中）

株式

朝取短期（廿七日）（前場）

銘柄	寄付	大引	高値	安値
朝新	一二八・〇	一二七・九	一二八・〇	一二七・九
大新	八二・八	八二・八	八二・八	八二・八
東新	一四六・一	一四七・六	一四八・〇	一四六・一
滿業	—	—	—	—
商船	—	—	—	—
鐘紡	一六六・〇	一六七・五	一六七・五	一六六・〇
同新	一〇九・一	一一〇・〇	一一〇・六	一〇九・一
小鐵	—	—	—	—
日立	—	—	—	—
朝石	—	—	—	—
高周波	五三・九	五三・一	五三・七	五二・九

朝取精算定と日步

銘柄	精算定	日步	代引
朝新	一二七・五〇	七	四
東新	一四六・七〇	四四	九四
鐘紡	一六五・〇〇	四〇	一九〇
同新	一〇九・六〇	九	一二〇
大新	八二・〇〇	三五	三五〇
高周	五三・〇〇	四	六〇
滿業	八〇・〇〇	一	一〇
弘中			

朝取短期建玉表

銘柄	賣方	買方	建玉數
朝新	二三	四	二一〇
大新	五	一〇	一七〇
東新	七	五	一五〇
鐘紡	三	一〇	二〇
同新	九	一	二〇
弘中	—	—	—

大株短期（前場）

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新	八二・〇	八二・九	八三・〇	八二・〇
鐘新	一〇九・〇	一一〇・〇	一一〇・六	一〇九・〇
鐘紡	一六六・〇	一六七・七	一六七・七	一六六・〇
洋紡	一五三・〇	一五三・九	一五四・〇	一五三・〇
日紡新	六六・一	六六・五	六六・九	六六・一
東新	一四六・二	一四七・〇	一四八・二	一四六・二
帝人	一一〇・九	一一一・〇	一一一・五	一一〇・九
郵船	一〇三・〇	一〇三・〇	一〇三・〇	一〇三・〇
商船	一〇三・〇	一〇四・六	一〇四・六	一〇三・〇
滿業	六一・八	六二・四	六二・四	六一・八
日立	七三・二	七三・九	七三・九	七三・二
日曹	七七・九	七七・九	七七・九	七七・〇

大株長期（前場）

銘柄	寄付	大引
東新	一四八・〇	一四八・〇
同新	一一〇・〇	一一〇・〇
大株	八二・〇	八二・〇
大新	八〇・〇	八〇・〇
滿業	八〇・〇	八〇・〇
郵船	一〇四・〇	一〇四・〇
同新	一二〇・〇	一二〇・〇

大株短期噸合

銘柄	賣	買	取組高
東新	三一	四〇	三七・〇六〇
大新	三五	四〇	一〇四・四〇〇

短期 三六・九二〇 累計 一四六・四五〇枚
滿業 一 一 一〇
高周波 八 一四 一〇・四二〇

東株長期（前場）

銘柄	寄付	大引
高周波	五三・〇	五三・〇
鐘紡	一六九・〇	一六九・〇
同新	一一〇・〇	一一〇・〇
東新	一四八・〇	一四八・〇
三菱工	—	—

東株短期（第一部）（前場）

銘柄	寄付	大引	高値	安値
東新	一四六・二	一四七・五	一四八・〇	一四六・二
郵船	一〇三・〇	一〇三・〇	一〇三・〇	一〇三・〇
鐘紡	一六六・〇	一六七・七	一六七・七	一六六・〇
同新	一〇九・〇	一一〇・〇	一一〇・六	一〇九・〇
同新	六六・二	六六・九	六六・九	六六・二
帝新	一〇九・六	一一〇・〇	一一〇・〇	一〇九・六
大新	八二・〇	八二・九	八三・〇	八二・〇
鋼管	九八・〇	九九・〇	九九・〇	九八・〇
日石	七六・九	七七・〇	七七・〇	七六・九

東株短期（第二部）

銘柄	寄付	中	引
滿鐵	七一・五	七一・五	七一・五
三重	九一・〇	九一・〇	九一・〇
洋レ新	八二・〇	八二・九	八二・九

東株短期噸合

銘柄	賣	買	取組高
日立	七六・〇	七六・九	七六・九
小倉	七六・五	七六・五	七六・五
日曹	六六・五	六七・〇	六七・〇
水產新	二一・九	二二・一	二二・一
塩水	六六・〇	六六・九	六六・九
日窒	六四・五	六四・五	六四・〇
滿業	六二・一	六二・一	六二・一

東株短期噸合

銘柄	賣	買	取組高
東新	四四	四六	五三・二八〇
滿業	三	三	三一〇

商品（廿七日）

橫濱生糸

前場	一節	二節	引
十二限	一九八	—	—
一限	一九八	一九六	—
二限	—	一九七	—
三限	—	一九七	—
四限	一九九	一九九	—

金融

日銀帳尻（廿六日）

發行高 五三七・七六〇・六八〇 減 二一・七九一・七〇〇
預金高 八六・三七〇・八四六 增 一・八六三・一九二
貸出高 四三九・六五六 增 一六六・三二三

鮮銀帳尻（廿六日）

發行高 七四四・六六三・七四〇

大東亞戰爭と證券界

宣戰布告と共に皇軍の迅風的進擊と赫々たる戰果は全世界の人々をして驚然たらしめた。吾々は今更の如くわが皇軍の威力の程に感激と感謝を捧げざるを得ない。證券市場もこの國民的興奮と意氣を反映して見るが如き躍動振りを示してゐるもの當然の理である。あまりの急激なる躍動振りに輕挑の惡習に過ぎるとの見方もあるが、祖國興隆の緒にある當場から見て以來の最後の見方であるが、我は如何の行進が始まり、大東亞共榮圈完遂の理想境から見れば未だ低位と見らるゝのである。ただ久しきに亘り株價水準があまりに閉塞し過ぎたる狀態におかれたるために高く映ずるに過ぎない。

京城府黃金町二丁目　野村證券京城支所

三國志【692】

吉川英治（作）
矢野橋村（畫）

（赤壁の巻）

鳳雛巢を出づ（二）

それを機に、龐統は辭をつげて歸つた。

周瑜は、それを送つて、ふたゝび營中にもどると、天地を頂禮して、喜びながら、

「われにわが大事を成さしむるものは、いまわれを訪ふ者である」

と、いつた。

やがて、蔣幹は、案內されて、こゝへ通つて來た。——この前のときと違つて、出迎へもしてくれず、周瑜は、上座についた儘、傲然と自分を睥睨してゐる容子に、內心、氣味わるく思ひながらも、

「やあ、いつぞやは……」

と、さりげなく親友ぶりを寄せて行つた。

すると周瑜は、きつと、眼にかど立てゝ、

「蔣幹。また貴公は、おれをたまさうと思つて來たな」

「えつ……騙さうとして？……あはゝゝ、冗談ぢやあない。舊交の深い君に對して、なんで僕がそんな詭謀なことをやるもんか。……それ所ではない。吾輩は、君はいつ——

「先日の好誼にむくゆため、ふたゝび來て、君のために一大事を敎へたいと思つてをるのに」

「やめたがいゝ」

周瑜は嚙んで吐き出すやうに、

「——汝の肚の底は、見えすいてゐる。この周瑜に、降參をすゝめる氣だらう」

「どうして君としたことが、今日はそんなに怒りッぽいのだ。激氣大事を誤る——。まあ、昔がたりでもしながら、親しくまた一獻酌み交さう。そのうへで、とつくり話したいこともある」

「厚顏なる哉。これほど云つてをるのにまだ分らんか。——汝、いかほど、舌をふるひ、智を弄ふとも、なんでこの周瑜を變心させることができよう。海に潮が涸れ山に石が爛れきる日が來らうとも、斷じて、曹操如きに降る此方ではない——先頃はつい、舊交の情にほだされ、思はず酒宴に心を寬して、同じ寢床で夢をともにしたりなどしたが、不覺や、あとになつて見れば、予の寢房から、軍の機密が失はれてゐる。大事な書簡をぬすんで、貴樣は逃げ出したであらうが」

「なに、軍機の書簡を……冗談ぢやない、戲れもほどにしてくれ。何でそんなものを吾輩が——」

「やかましいつ」

と、大喝をかぶせて、

「——その爲、折角、吳に內通してゐた張允、蔡瑁のふたりをまだ內應の計を起さぬうちに、曹操の手で、成敗されてしまつた。明らかに、それは汝が曹操へ密告した結果にちがひない。——それさへあるに、又候、のめ〳〵とこれへ來たのは、近頃、魏を脫陣して、この周瑜の幕下へ投降して來てゐる蔡和、蔡仲に對して、何か策を打たうといふ肚ぐみであらう。その策は喰はん」

「どうしてさう……一應このわしを頭から疑はれるのか」

「まだ云ふか。蔡和、蔡仲は、またく吳に降つて、かたく予に忠節を誓ひをるもの。竟、汝らの姦計に迷つて、ふたゝび魏の軍へ回らうか」

「そ、そんな……」

「だまれ、だまれつ。本來は一刀兩斷に斬つて捨てるところだが、舊交の誼に、生命だけは助けてくれる。わが吳の軍勢が、曹操を擊碎するのも、こゝわづか兩三日のあひだだ。そのあひだ、この邊に繫いでおくのも足手まとひ。だれかある！こやつを西山の山小舍へでも抛りこんでおけ。曹操を破つて後、鞭の百打も喰らはせて、江北へ追つ放してくるゝから」

と、蔣幹を睨めつけ、また左右の武將に命つて、虎のごとくいひつけた。

武士たちは、言下に、

「おうつ」

と、ばかり蔣幹をとり籠んで、有無をいはず營外へ引つ立てゝ行つた。そして一頭の裸馬の背に縛して、西山の奧へ追ひ上げた。

山中に一軒の小舍があつた。おそらく物見小舍であらう。蔣幹をそこへ抛りこむと、番の兵は四方に立つて見張つてゐた。

乳兒にわかもと　消化不良を恢復し、發育促進、體質を强化す

結核の正しい考へ方と治し方　肺ろくまく　どうすればよいのか、看護の仕方等に就て、肺結核・肋膜・肺門・肺尖・肋膜とは大々どんな病であるか、どうすれば全治するか、どうすれば早く治す事が出來るか、どんな食物を食べたら良いか、又どんな事をしたら悪いか、結核患者の見逃せない大切な事々を詳述した【治療參考書】を三冊無料にて差上げます。A全快談の數々…一冊　B正しい家庭療法…一冊　C新生…一冊　無代送呈　大阪市東區石町　本家角田　角田正直

武田產婦人科病院　新學期 四月・十月始　武田產婆學講習所　京城府長谷川町（朝鮮銀行横）　醫學博士 武田正一房　電話本局(2)四五四五番 一三七二番

強精補血劑　蔘茸トニク

紛失爲替手形無効廣告
一、金額五千圓 支拂期日同十七年一月二十八日
一、金額六千圓 支拂期日昭和十七年二月二十六日
一、金額四千圓 支拂期日昭和十七年一月二十三日
右爲替手形去る十二月二十五日仁川より京城黃金町に至る間に於て紛失候に付ては該手形は自今無効に付此段廣告候也
昭和十六年十二月廿六日　仁川府宮町三四番地　天合棧　盛記　電話八三五番

おせんだくには洗劑アカネ

手がきれいになつてしまふとは言へ　本品に配合の高貴藥ヒスタミンはヒビ、シモヤケを防ぐが本物です　素材の大切な折角おしゃれ用には御選擇下さい　ヒスタミン　ハリノイ手用藥　C-6　（見本進呈）東京・京城・大阪　實二町二丁目　實製藥株式會社

京城黃金町　白井證券取引店　株式投資の御相談は皇軍ヘカキで御照會乞

輝く世紀　躍進日本　株式爆進

東亞證券　朝取一般取引員　京城黃金町二　電話本局代表五一一六

投資の好機　堂々の躍進　聖戰の遂行—軍需株—　大東亞經營—平和株—　大原證券（株式會社）　京城府明治町一丁目　電話本局(2)5,131—5,139

朝鮮取引所實物取引員　三和株式現物店　京城府明治町一丁目　電話本局② 6101 6102 6103 6104 6105 6013　御紹介次第調查回答

朝鮮名產　人蔘精茶　製法特許　人蔘の全成分を歷綿したるエッセンス!!　定價 5.00 2.20 80　京城府南大門通一　亞細亞貿易公司

朝取一般取引員　有價證券現物賣買　山本源作商店　京城府明治町一丁目　電話代表②五一九一番　滿洲山源證券株式會社　奉天加茂町八號

28日封切　長谷川・ロッパの 道花の男　小國英雄脚本　マキノ正博演出　梨園の名花三世歌右衞門のあくなき舞台精進をそのまゝに描破した長谷川一夫の『雪之丞變化』以來一世一代の名作……　渡邊篤（ビクター）　市丸　千葉早智子　澤村貞子　山根壽子　助演　陸續登場する新春映畫　わが家は樂し 柳家金語樓主演　武藏坊辨慶 山田五十鈴・岡讓二　少年漂流記 高まさる主演　緑の大地 入江たか子主演　白い壁畫 高田稔・入江たか子　東寶 若劇　東宝　全力で護れ この空この國土!

"初老期" 男子く 頭重・肩凝 疲勞・倦怠感　綜合男性ホルモン劑 ホルモトン　各種ホルモンノ複合ニナル强力綜合男性ホルモン劑ニシテ單一ホルモン劑ニ比シ遙ニ協力的ニ著明ナホルモン效果ヲ期シ得ル　錠　注射　大阪・東京・京城　鹽野義藥商店　SF-329

健全美の身嗜み料　クロバー　クリーム レモン・ロ紅・ホ紅・キンチンレモ

月經不順 月經異常 月經過少 無月經　內用・副作用なし　正しき月經促進新藥　エムサン　一流藥店にあり　藥價 1.50 2.80 5.00 9.00

奧樣の腕前　着古しの着物も染直し方一つで立派に更生する。少い材料でも工夫すれば榮養豐かなおいしいお料理ができる。それと同じことが言へる。貯金についても、家計の切り廻し方だ。欲しいものは買ひ放題、余つたら貯金しやうではいつまで經つても出來るものではない。そこが奧樣の腕前の見せ所だ!　壽屋　赤玉ポートワイン本舖　株式會社

新春映畫いよいよ登場　ハワイにマレー沖に燦々の戰果を誇るわが無敵海軍の皇容　海軍省後援　大日本海軍省普及部提供　每日新聞社製作　我らの戰艦　大東亞戰爭ニュース 戰況第一次到着封切!　明日封切　正月隨一の娛樂映畫!　全日本人の待望を完全に滿足させた期待の明朗娛樂映畫!　佐野周二　李香蘭　水戶光子　滿映松竹提携作品　中國少女より 蘇州の夜　松竹明治座

公示催告

昭和十六年（ヒ）第二九五號　公示催告　京城府長橋町十七番地……（以下判讀困難）

法人登記公告

（判讀困難）